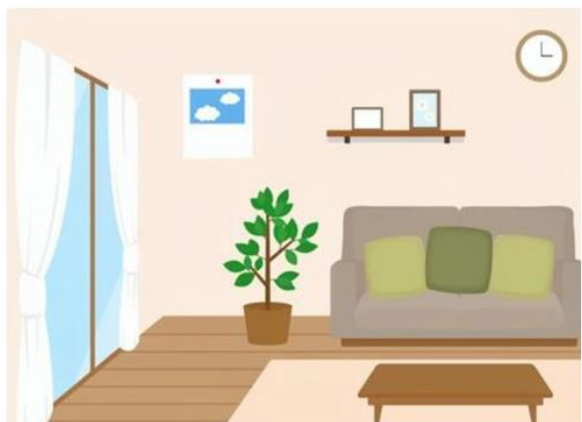


› KBらせん階段 施工準備編

設置場所は正しいですか？



室内



ガレージ



土間

室内専用品です。室外には設置できません。

防火指定地域での設置条件は確認しましたか？

設置不可

防火地域：建築物は全て設置不可

**準防火地域：木造3階建以上。
若しくは、床面積500m²以上の建物（イ準耐）**

設置可

その他、階段の耐火性能を求められない建物 設置可

主要構造部がアルミ製であり、耐火構造として認められていませんので、非常階段及び準耐火以上の建物の主要階段として使用することはできません。

融資条件を確認しましたか？

【フラット35】S 対応不可

**住宅性能表示 高齢者配慮等級への対応は
『等級 1』に該当します。**

ビルダー様、設計士様と打ち合わせをお願い致します。

事前に担当行政へ確認をしましたか？

- ・各地区建築行政での階段に関わる指導要項に合致しない場合は、設置不可になります。

■ 設計者様へのお願い

- ・平面図にアルミ階段使用の旨を明記してください。
- ・平面図と伴に、階段図面を添付して担当行政官に使用可否を確認してください。

手すり有効開口

手すりパネル高さ

手すり有効幅、すき間防止パネルの高さなど、
法的見解が分かれる部分の確認を事前にしてください。

建築構造を確認しましたか？



木造在来、2×4工法用商品です。
木造以外の納まりには対応していません

施工時期を確認しましたか？



らせん階段は、
壁紙仕上げの後に施工します。

壁紙施工後

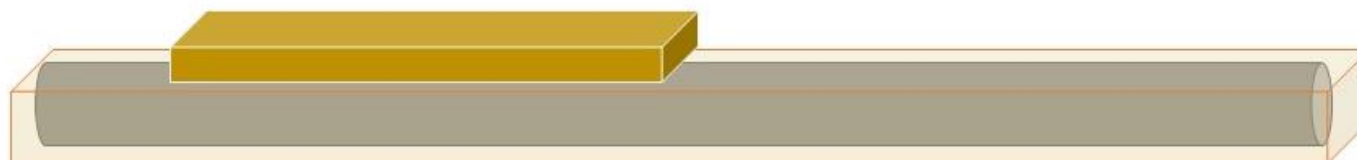
壁紙、クリーニング、外構工事なども含め、
施工日を決めてください。

施工業者、手配方法を確認しましたか？

**取付けはコントラクターさま、お得意さま手配による
アルミ製品の取付けに詳しい業者さまの施工を推奨します。**

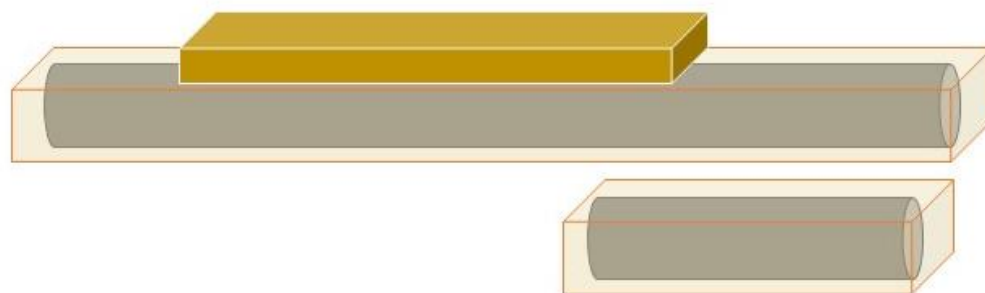
搬入経路を確保していますか？

設計段階から搬入経路の確保をお願いします。



1本タイプ支柱

← 約3400mm～4300mm →



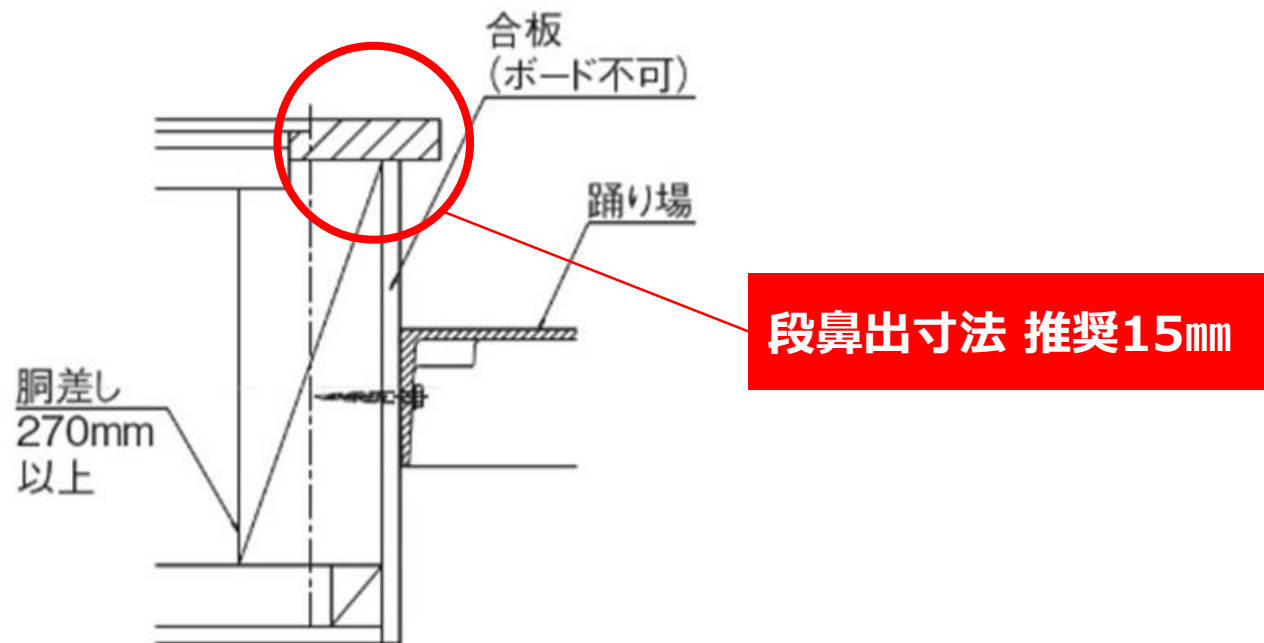
分割タイプ支柱

← 約2300mm～3100mm →

搬入経路、取付け時の取り回しに懸念が有る場合は、
分割タイプの支柱をおすすめします。

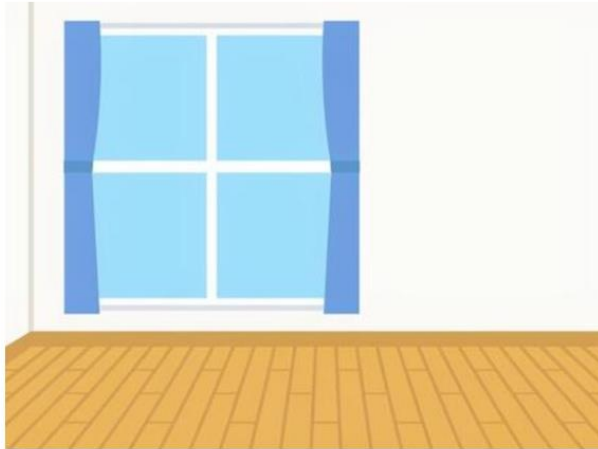
上段框を確認しましたか？

上段框を使用する場合は、2階フロア施工時に先付けしてください。



必要に応じて、階段の上段框を別手配してください。

床仕上げ条件の確認はしましたか？



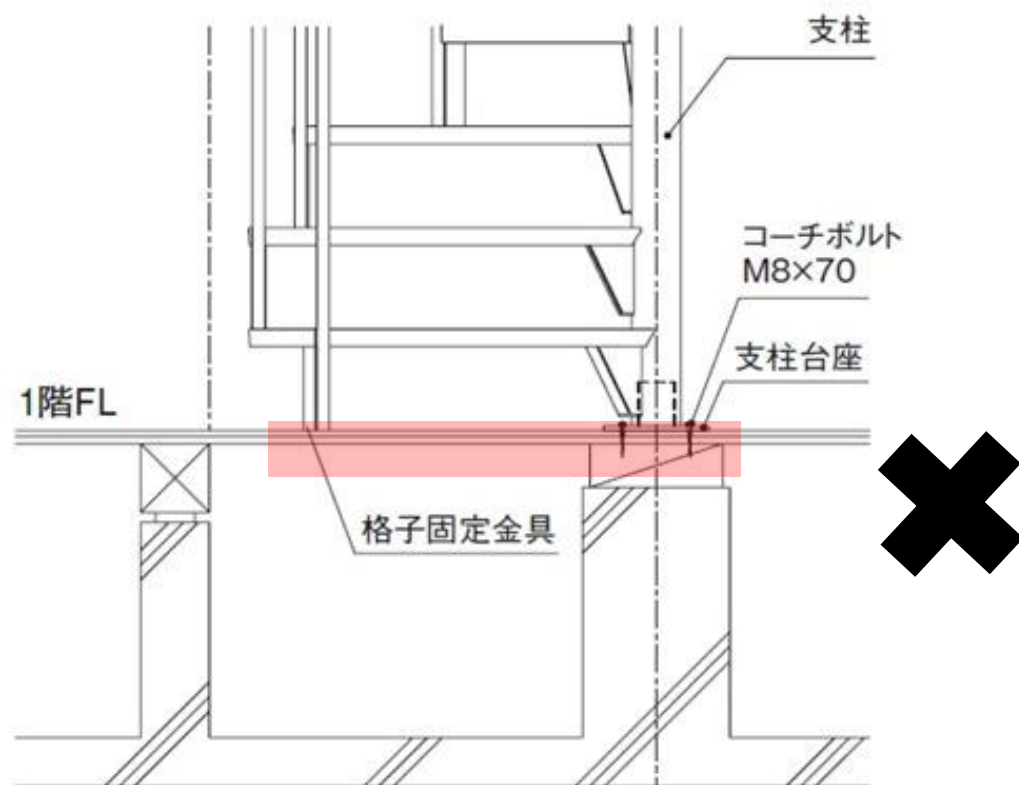
木製フローリング



大理石・タイル
クッションフロア、防音床など

フロア材は木製を使用してください。

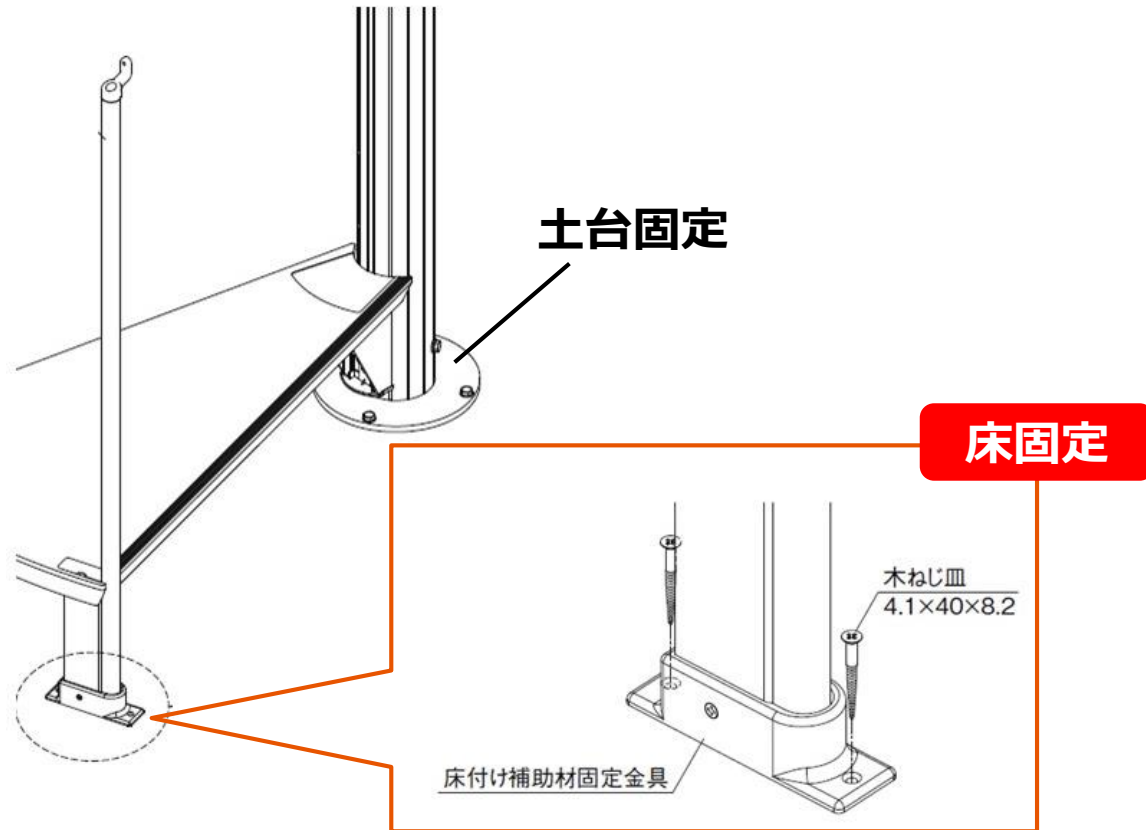
床仕上げ条件の確認はしましたか？



**床暖房を使用する場合、支柱部及び、
踏板格子床固定部位を避けてください。**

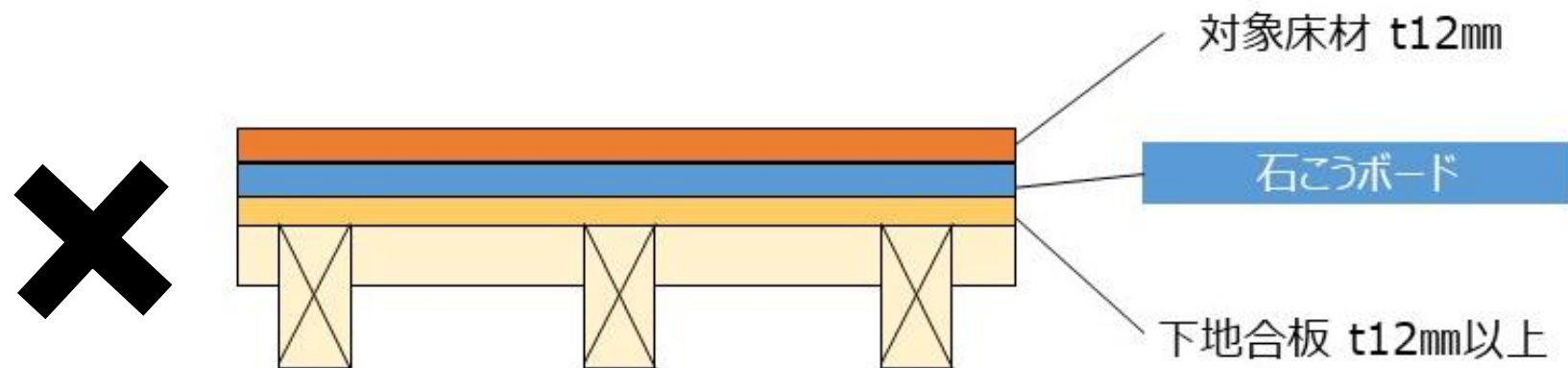
床仕上げ条件の確認はしましたか？

捨て張り工法、根太工法に設置可能です。



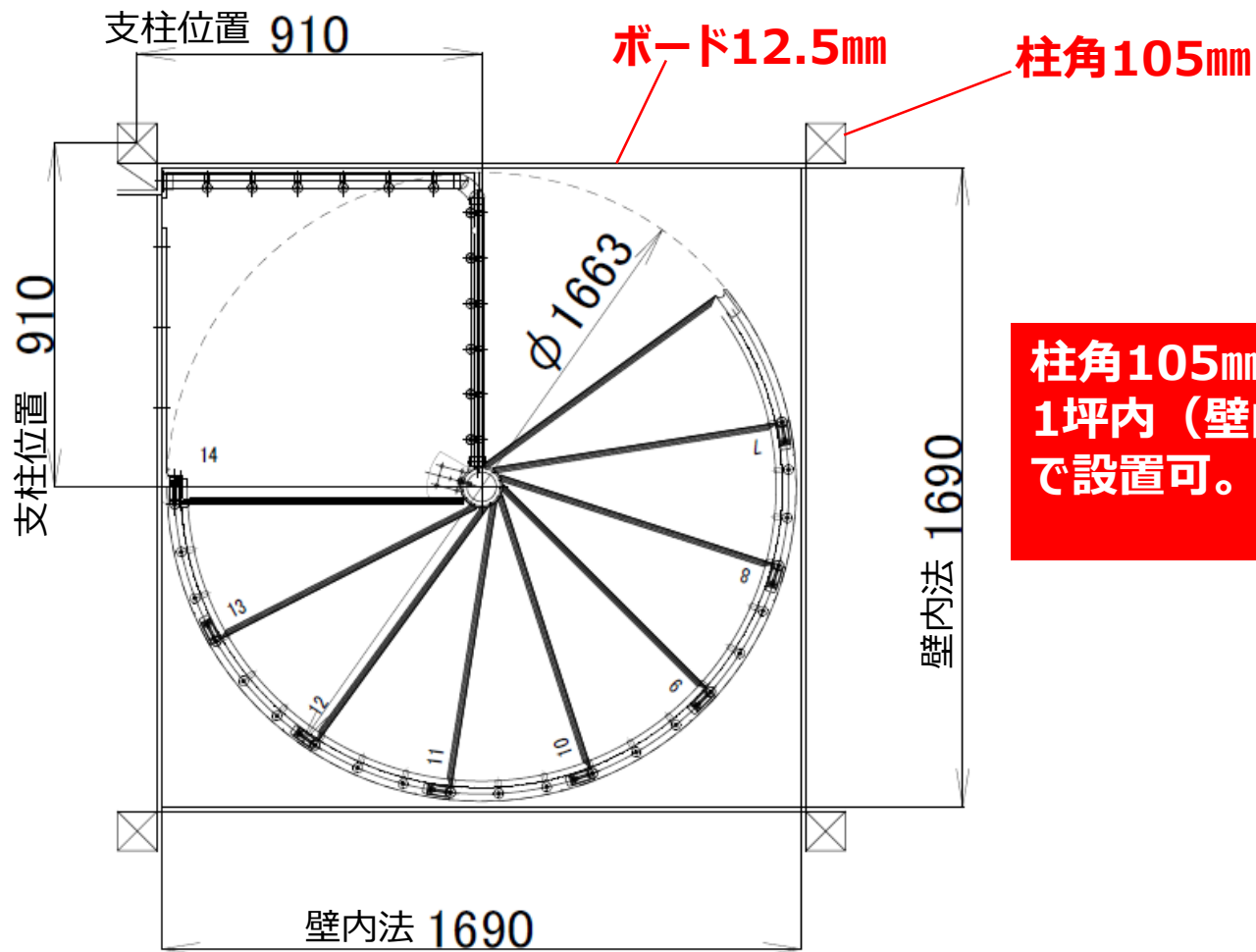
木ねじ24mm以上の掛かりにしてください

床仕上げ条件の確認はしましたか？



**2重床及び、床+石膏ボード+捨て張りの構成には
対応できません。**

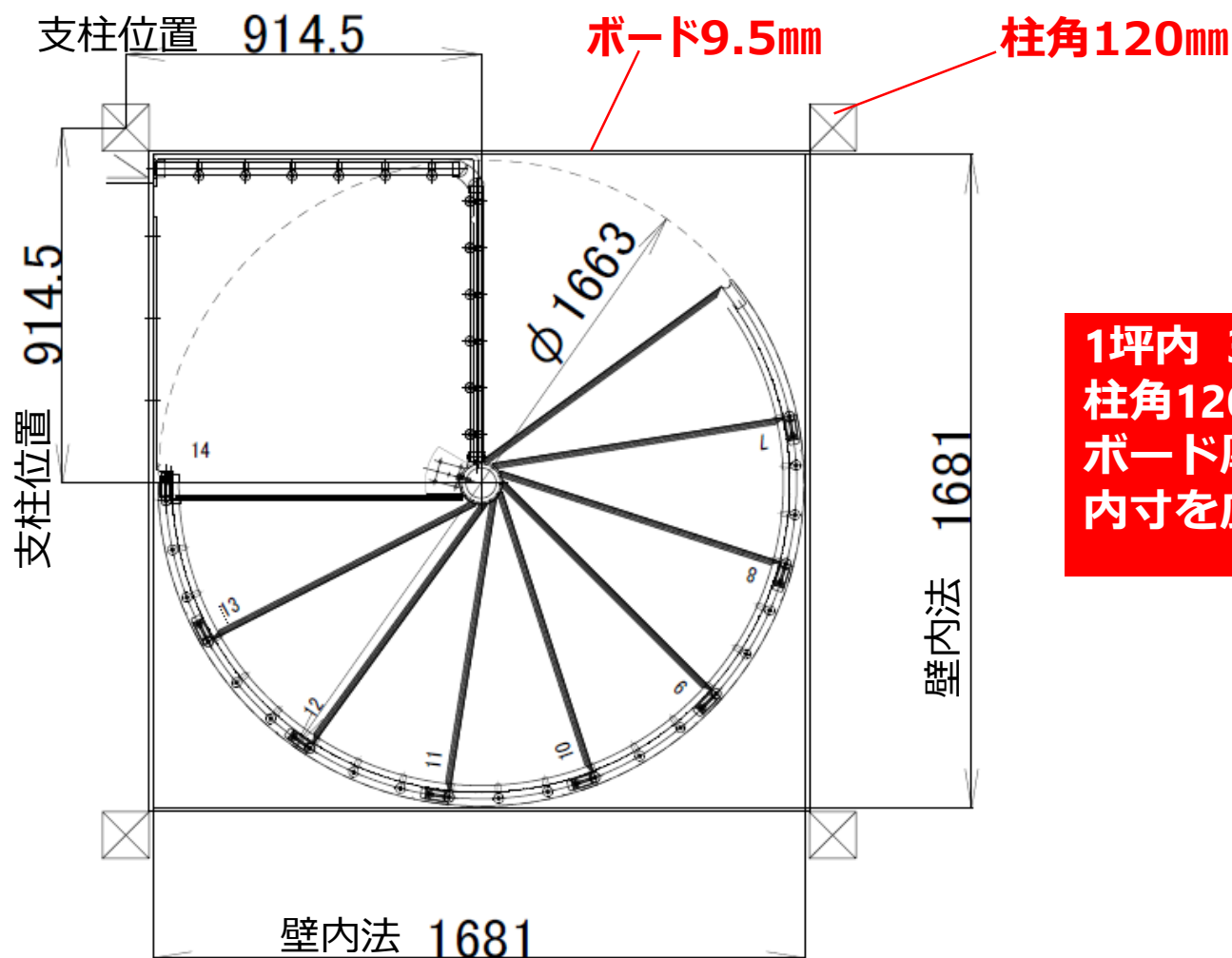
壁内法、柱角、ボード厚条件を確認しましたか？



**柱角105mm+ボード12.5mm
1坪内（壁内法 1690mmの3方壁）
で設置可。**

設置場所の寸法を確認してください。

壁内法、柱角、ボード厚条件を確認しましたか？



1坪内 3方壁
柱角120mmの場合、
ボード厚9.5mmにして
内寸を広げて下さい。

1坪内 柱角120mm+ボード厚 12.5mm 3方壁の場合は**設置不可**。

他部材の干渉が無い事を確認しましたか？



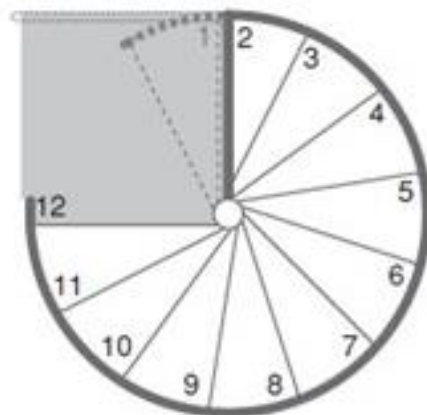
**干渉の可能性がある物
枠関係、造作材、出窓カウンターなど**

昇降口の位置は確認しましたか？

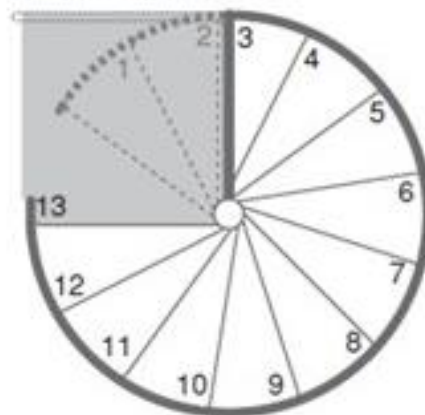
●12段 (階高/2550)



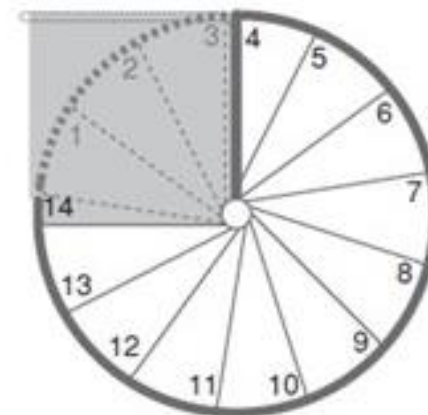
●13段 (階高/2700)



●14段 (階高/2900)



●15段 (階高/3100)

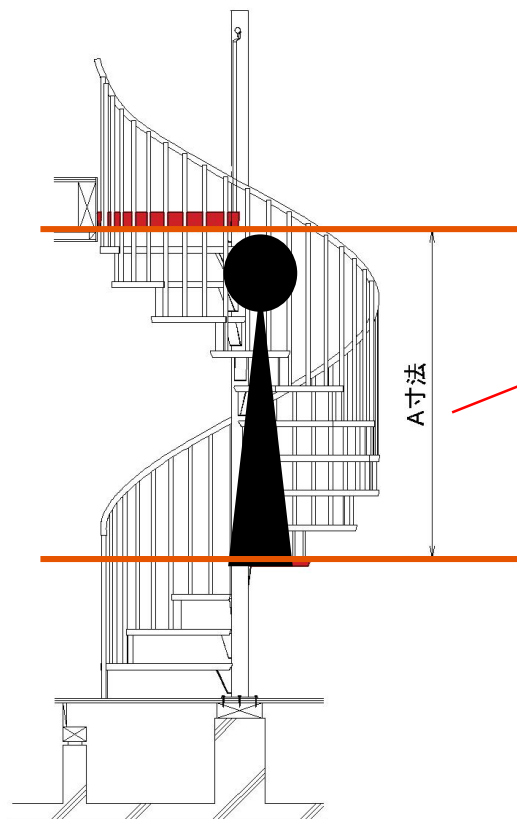


段数によって、1段目位置が変わります。

階高は対応範囲内ですか？

**対応可能階高 2400mm～3200mmです。
（段数によって対応範囲は異なります。）**

建主さまへ商品特性をお伝えしていますか？

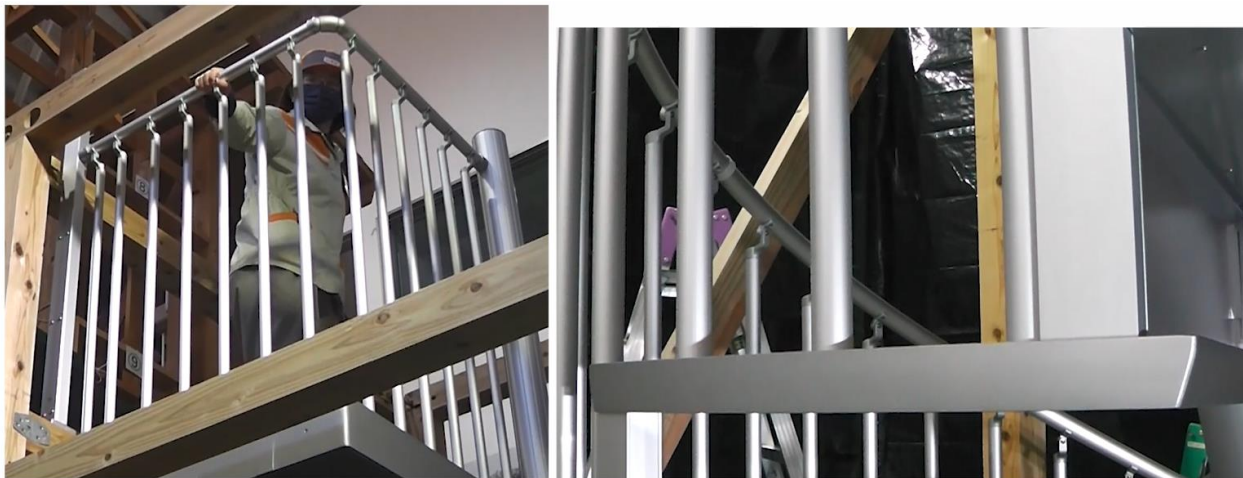


$$\text{A寸法 (mm)} = \text{蹴上げ寸法} \times 10 - 100$$

商品の特性上、踊り場の下を通る際、頭上が狭く感じられる場合があります。

開口寸法(A寸法) について建主さまと打ち合わせしてください

建主さまへ商品特性をお伝えしていますか？



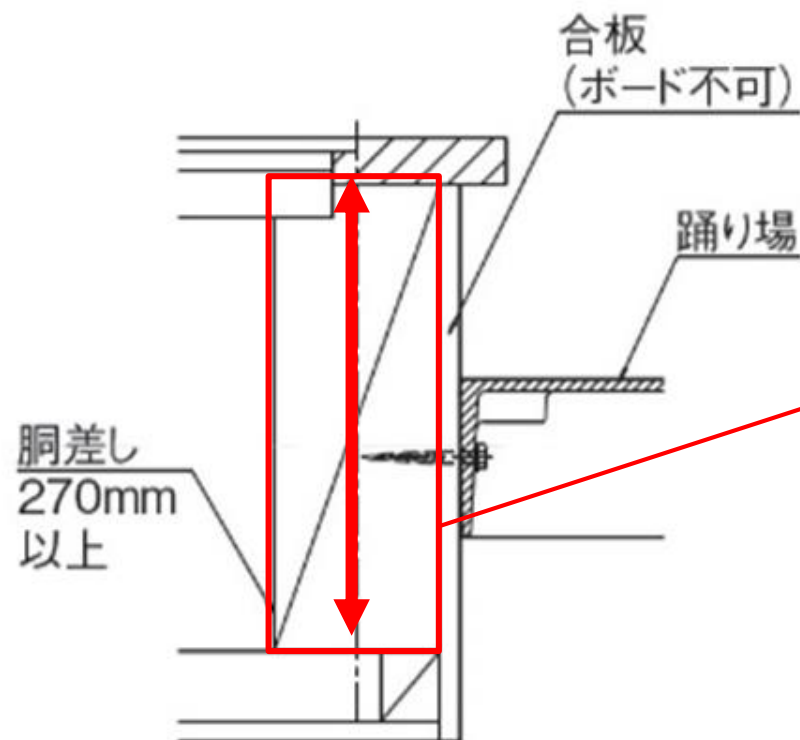
6301053433001

①施工前準備編
(動画)

詳細は動画（2分26秒～2分33秒付近）でご確認ください。

商品の特性上、多少の揺れが生じることがあります。
建主さまへのご了承の得た上で、手配してください。

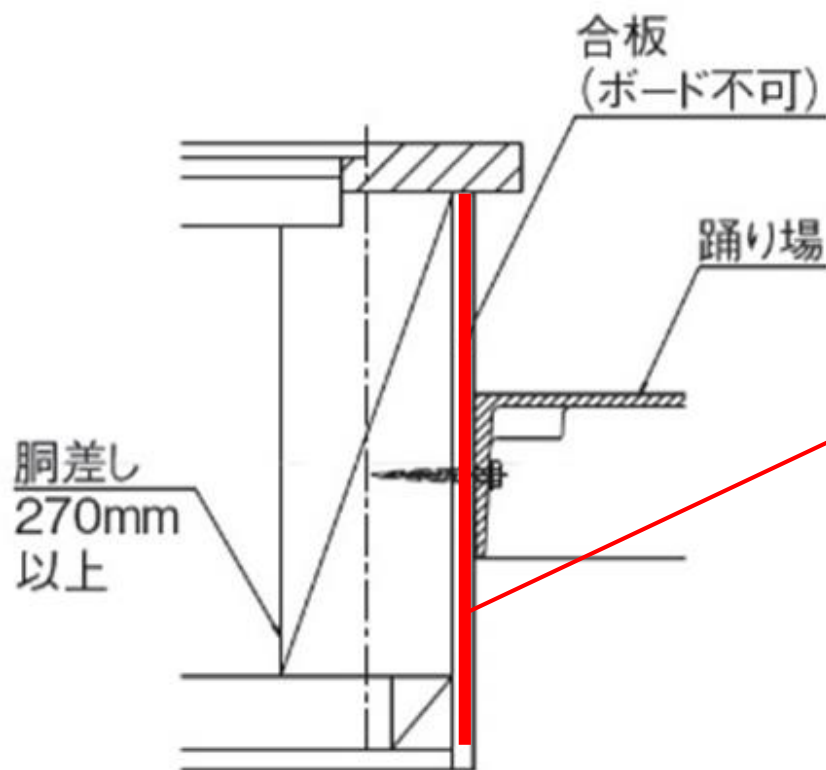
踊り場固定の胴差し寸法を確認しましたか？



踊り場取付け部の胴差しが
270mm以上が必要です。

強度が取れない場合は、崩落や陥没の危険があります

踊り場固定部分が合板仕上げになってますか？

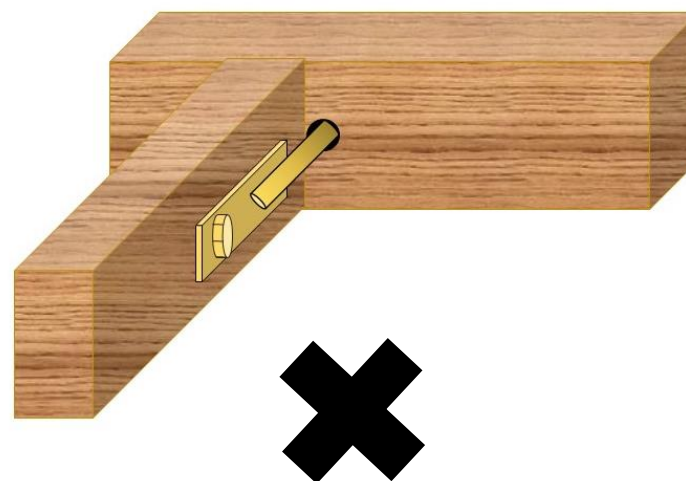


踊り場取付け部は、
合板仕上げにしてください。
(石膏ボード不可)

踊り場施工時に、石膏ボードが陥没して水平・垂直が出なくなります。

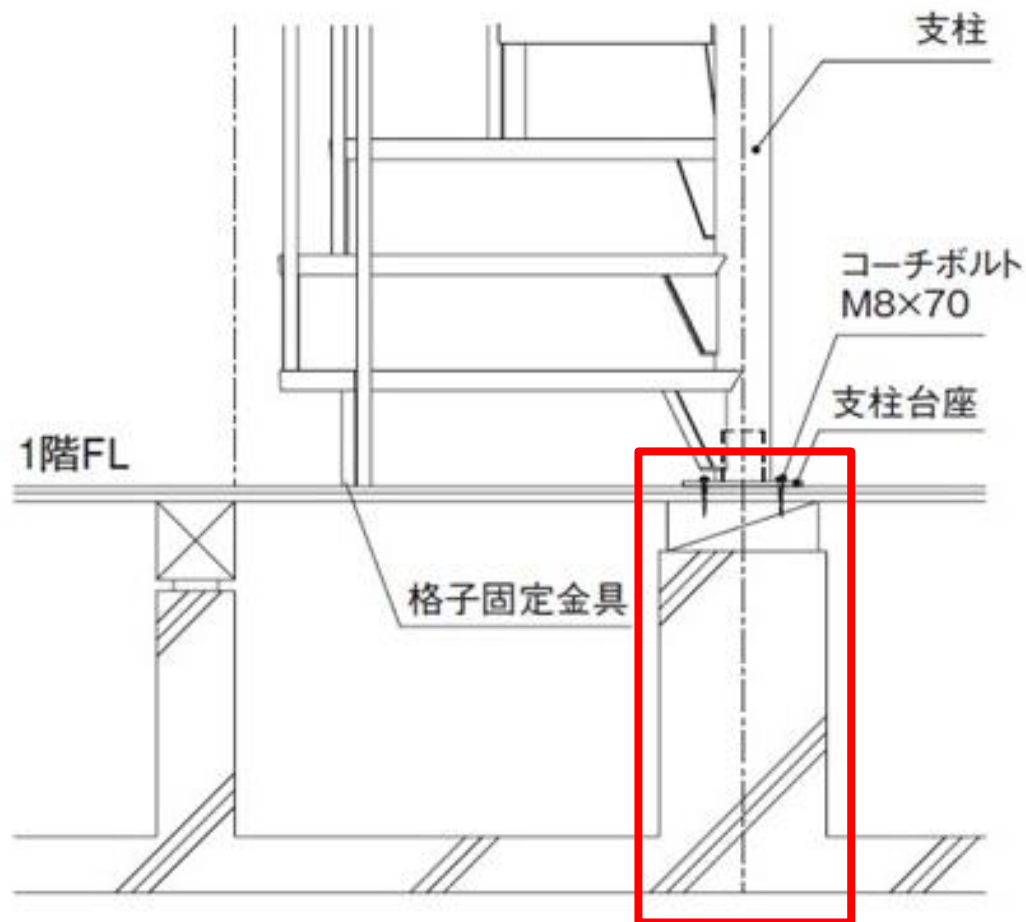
羽子板ボルト等の金物干渉は確認しましたか？

踊り場を取付ける胴差に、
羽子板ボルト等の金物干渉が無いようにしてください。



取付けが出来なくなります。

支柱下の強度は十分ですか？

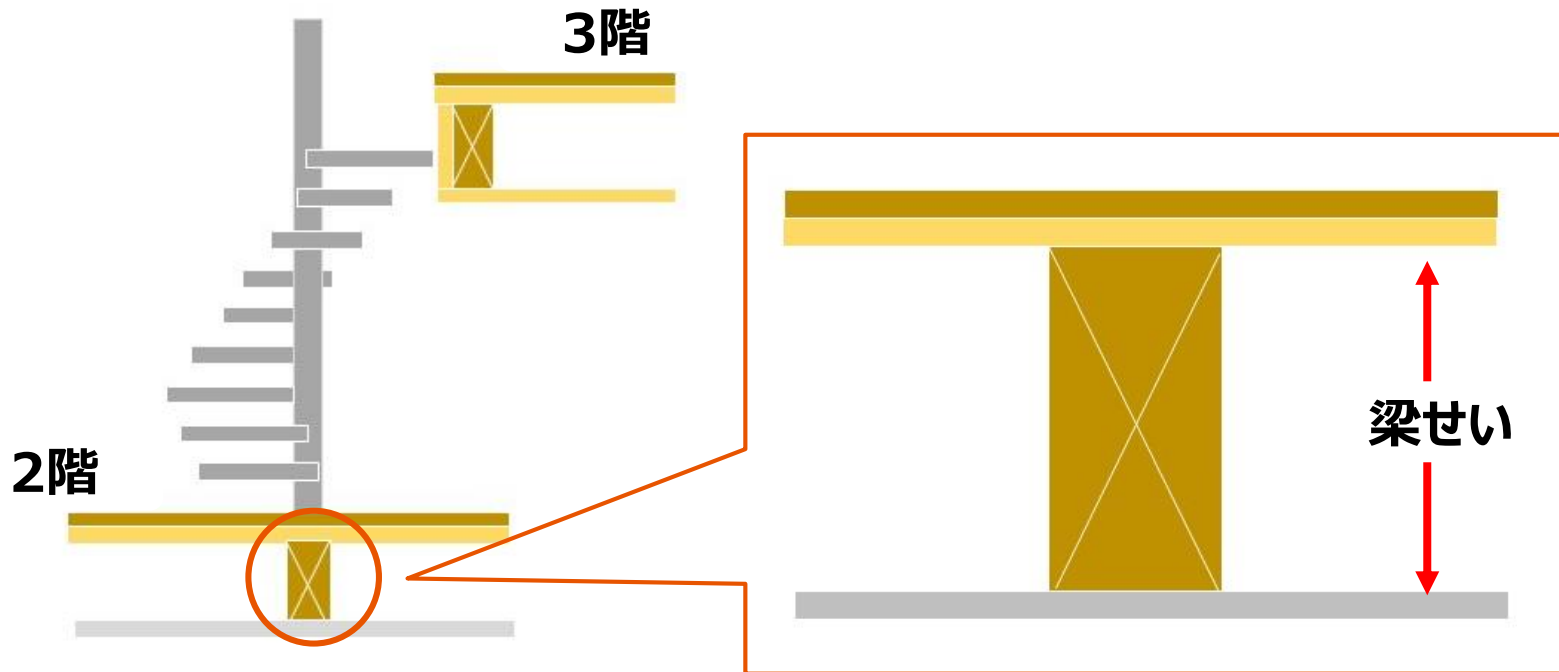


支柱下に基礎を敷設し、土台や根太部分に十分な強度を確保してください。

強度が取れない場合は、崩落や陥没の危険があります

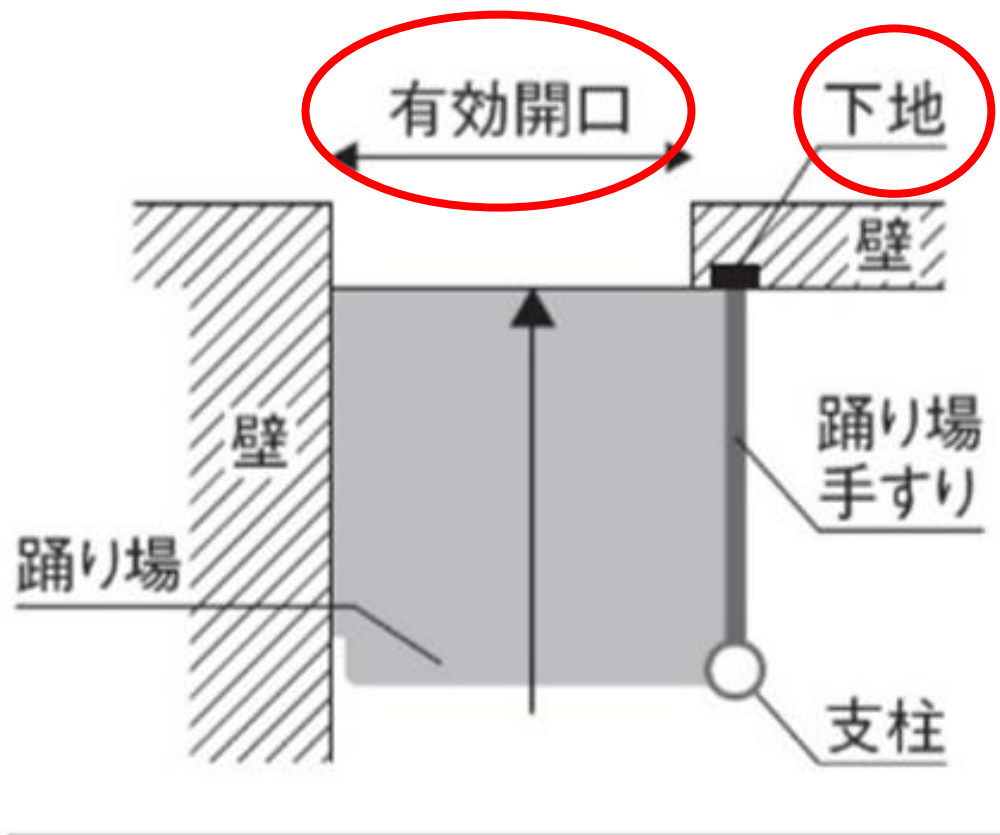
2階以上への設置がありますか？

2階～3階へ設置する場合、
必ず構造計算から梁せいを算出してください。
2階建てロフト・ペイントハウス等の場合は、
安全率をみて通常床支持梁せいの2サイズアップをしてください。



強度が取れない場合は、崩落や陥没の危険があります。

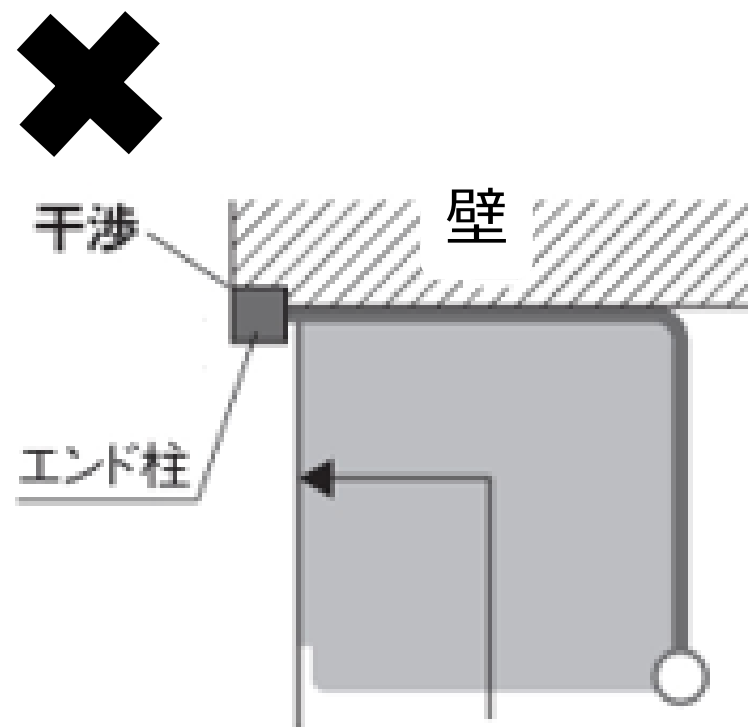
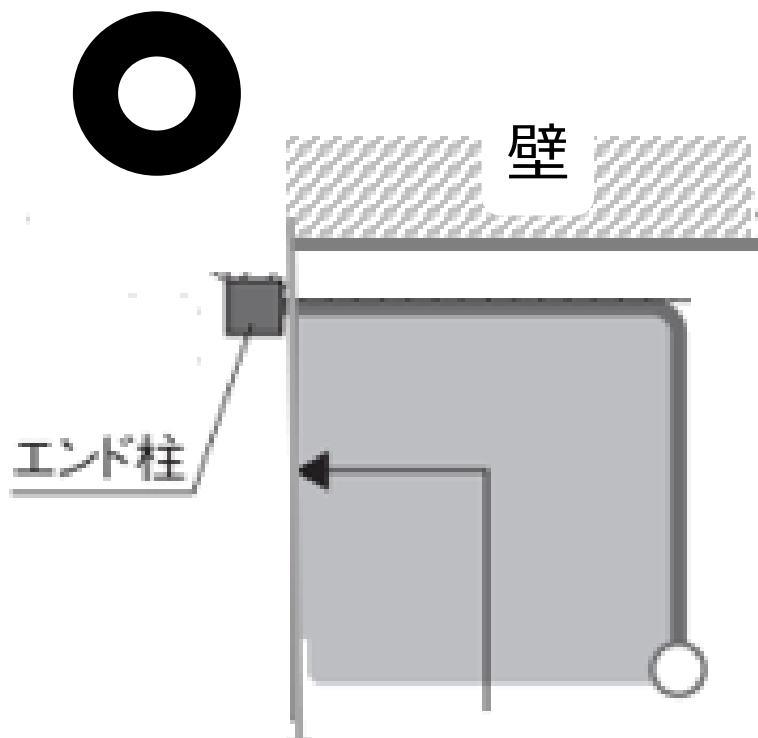
手すり壁付け用の下地がありますか？



踊り場手すりを壁に設置する場合の下地と、
有効開口寸法をご確認ください

エンド柱の使用条件を確認しましたか？

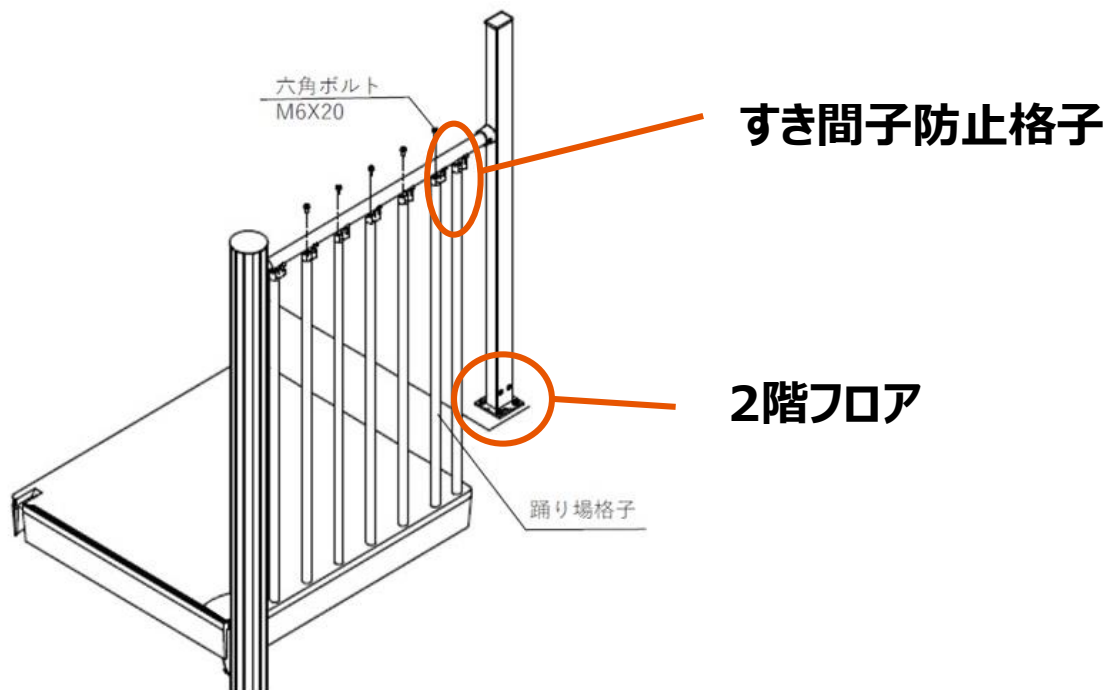
平面踊り場納まり



平面踊り場納まりの場合、壁とエンド柱カバーが干渉するので、踊り場を壁から離して施工してください。

エンド柱の使用条件を確認しましたか？

踊り場部の手すり固定用のエンド柱を使用する場合、
1坪内（3方壁）に納まりません。2階フロア部に設置となります。



エンド柱を使用する時は、格子間の隙間が110mmを超える為
すき間防止格子を手配してください。

施工業者さまに施工の注意ポイントをお伝えしましたか？

カタログ掲載の2次元バーコードから、
施工ポイント動画（または施工ポイント資料）を
施工業者さまに必ずご確認くださいから取付けるようにしてください。



警告

●支柱と踊り場は、3人以上で施工してください。
製品の倒れ・落下によりケガをするおそれがあります。



6301053433001

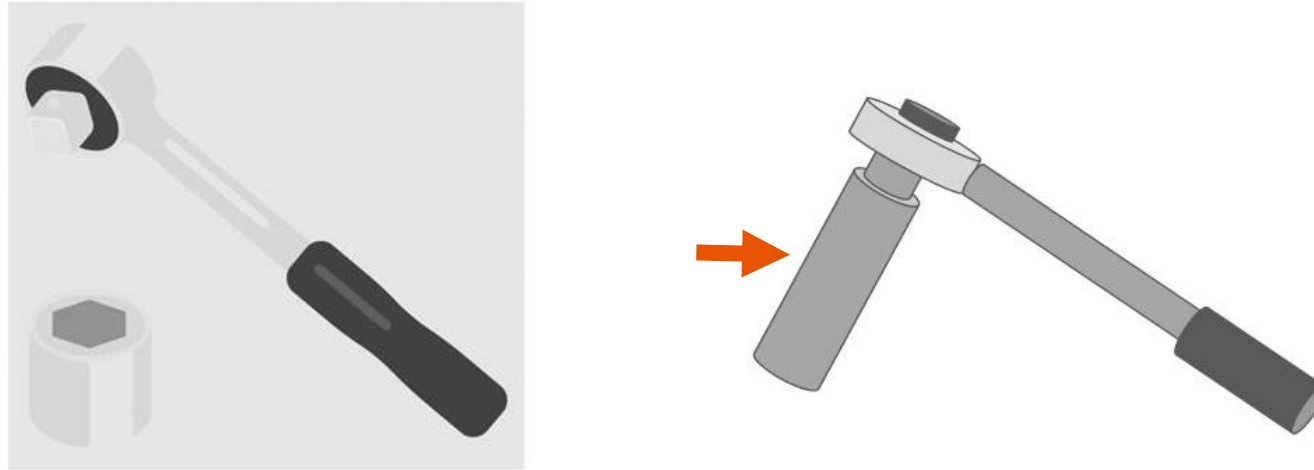
①施工前準備編
(動画)



6301053526001

②施工編
(動画)

施工工具のご紹介



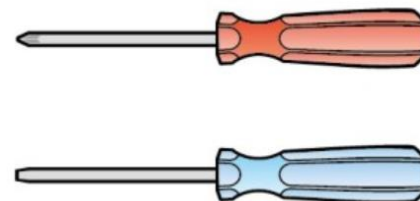
**ソケットレンチ&ロングソケット
10 (M6) ,13 (M8) ,17 (M10)**

ボルトねじ締めに使います。

施工工具のご紹介



トルク調整付電動ドリル
インパクトドリル



ドライバー



六角レンチ サイズ4

ねじ締め、下穴加工に使用します。

施工工具のご紹介



アルミ切断工具



ドリル

Φ2.8、Φ3.0、Φ3.2、Φ5、Φ7



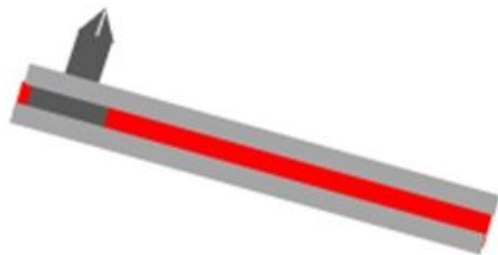
センターポンチ



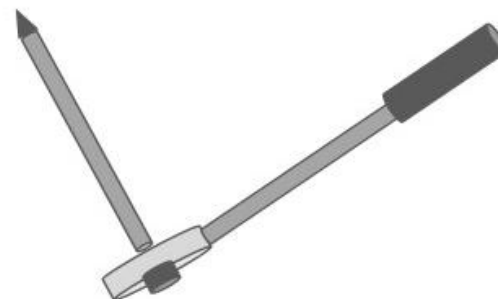
ハンドタップ M4

手すり切断、下穴、タップ加工があります。

施工工具のご紹介



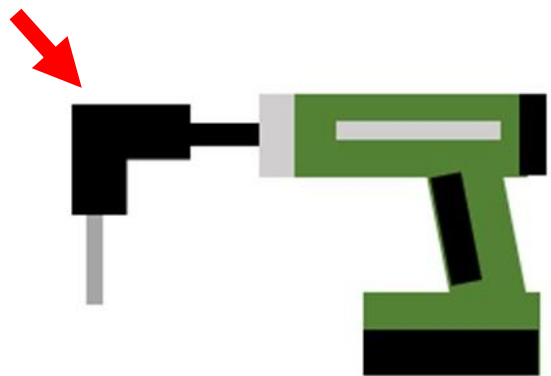
オフセットドライバー



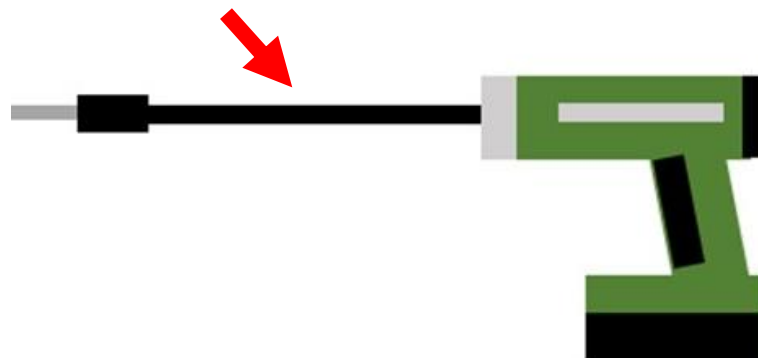
ラチェットドライバー

狭い場所で使用します。

施工工具のご紹介



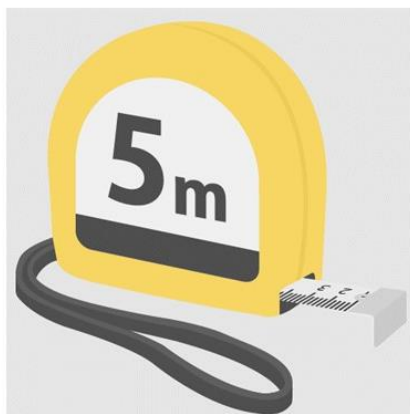
L型アダプター



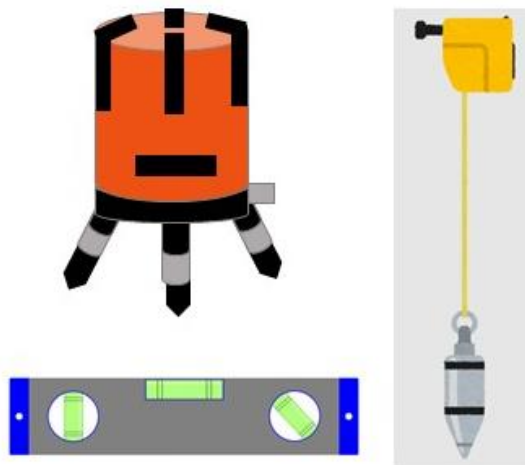
延長アダプター

狭い場所で使用します。

施工工具のご紹介



スケール



水準器

墨出し、水平・垂直確認に使用します。

› KBらせん階段 施工編

全体の流れ

取付け説明書と、施工注意ポイントを見て施工してください。

施工のおおまかな流れ（専門業者様 1.5日～2日 作業者 2人～4人）

施工準備

取付け位置の墨出し

補強材（平面のみ）

踊り場・支柱建て

仮組、位置合わせ

▲ 警告



●支柱と踊り場は、
3人以上で施工してください。
製品の倒れ・落下によりケガを
するおそれがあります。



ステップの施工

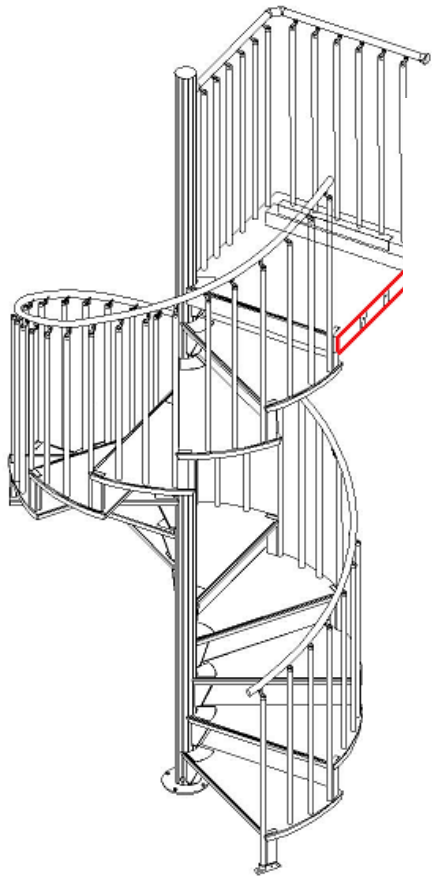
格子の施工

手すりの施工

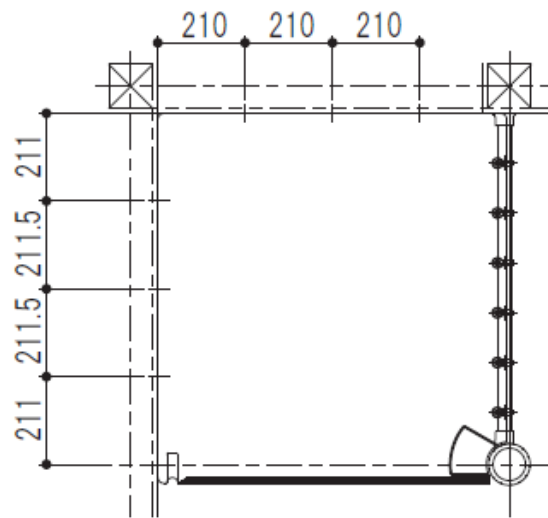
施工完了



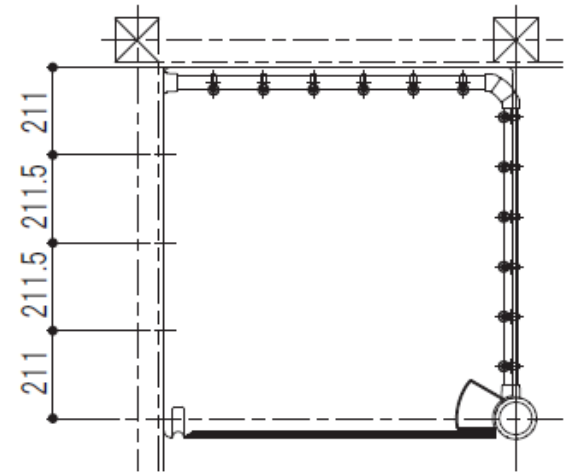
踊り場と支柱の取り付け



【入隅踊り場納まりタイプ】



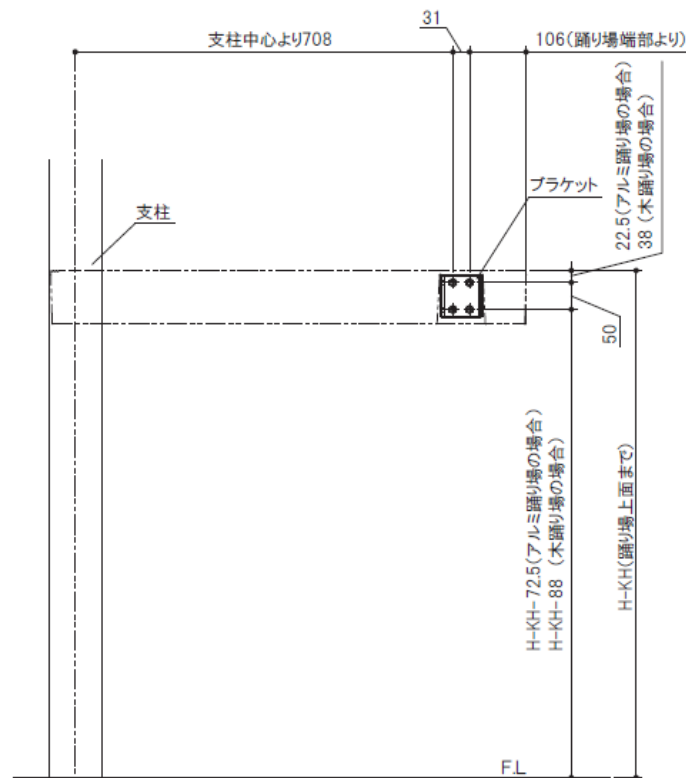
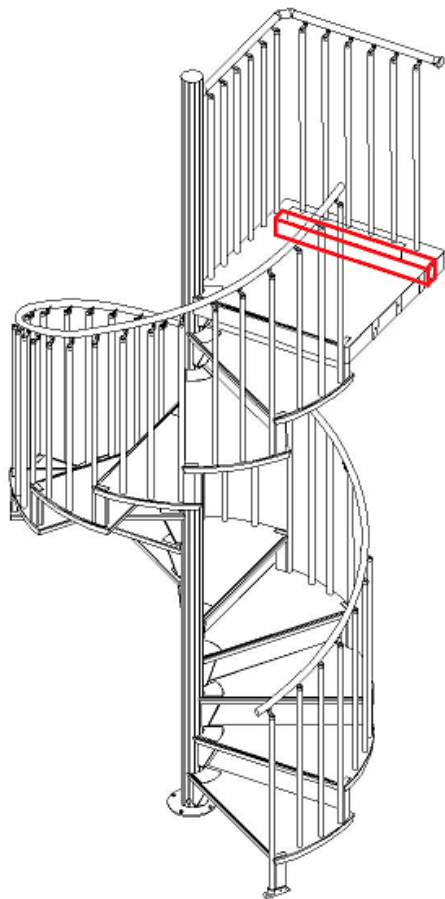
【平面踊り場納まりタイプ】



本動画は、平面踊り場納まりタイプの施工になります。

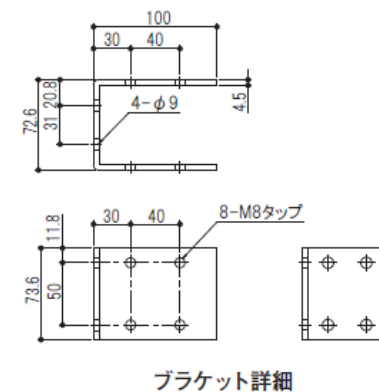
踊り場と支柱の取り付け

平面踊り場納まりタイプのみ



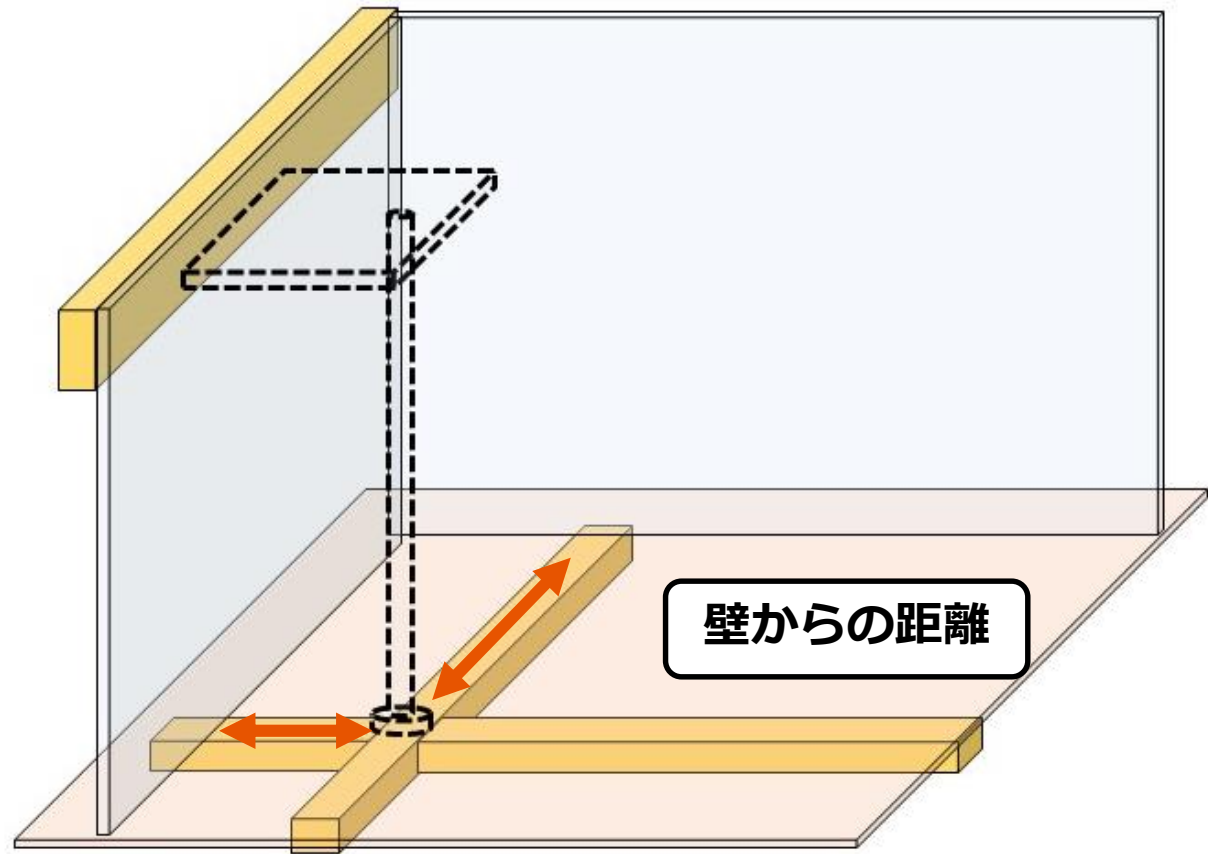
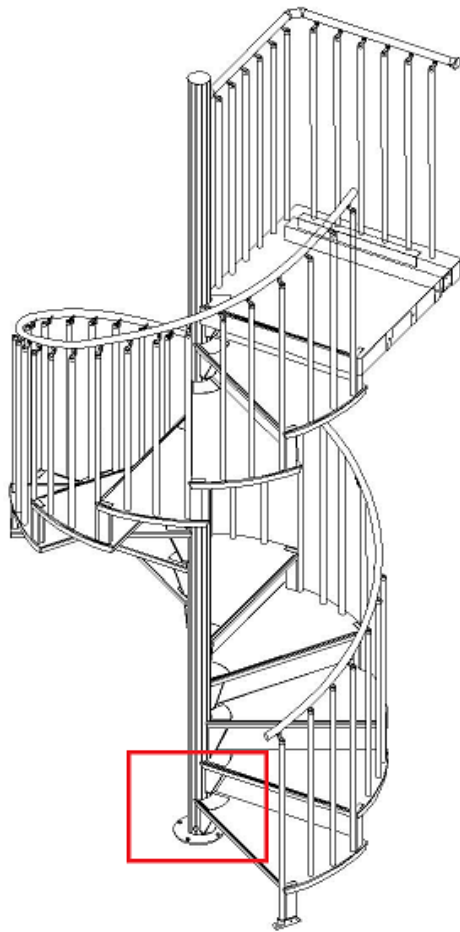
サイズ(H)	KH	上りきり段数
2550	212.5	12
2700	207.7	13
2900	207.2	14
3100	206.7	15

※ KH算出式
KH=階高 ÷ 上りきり段数



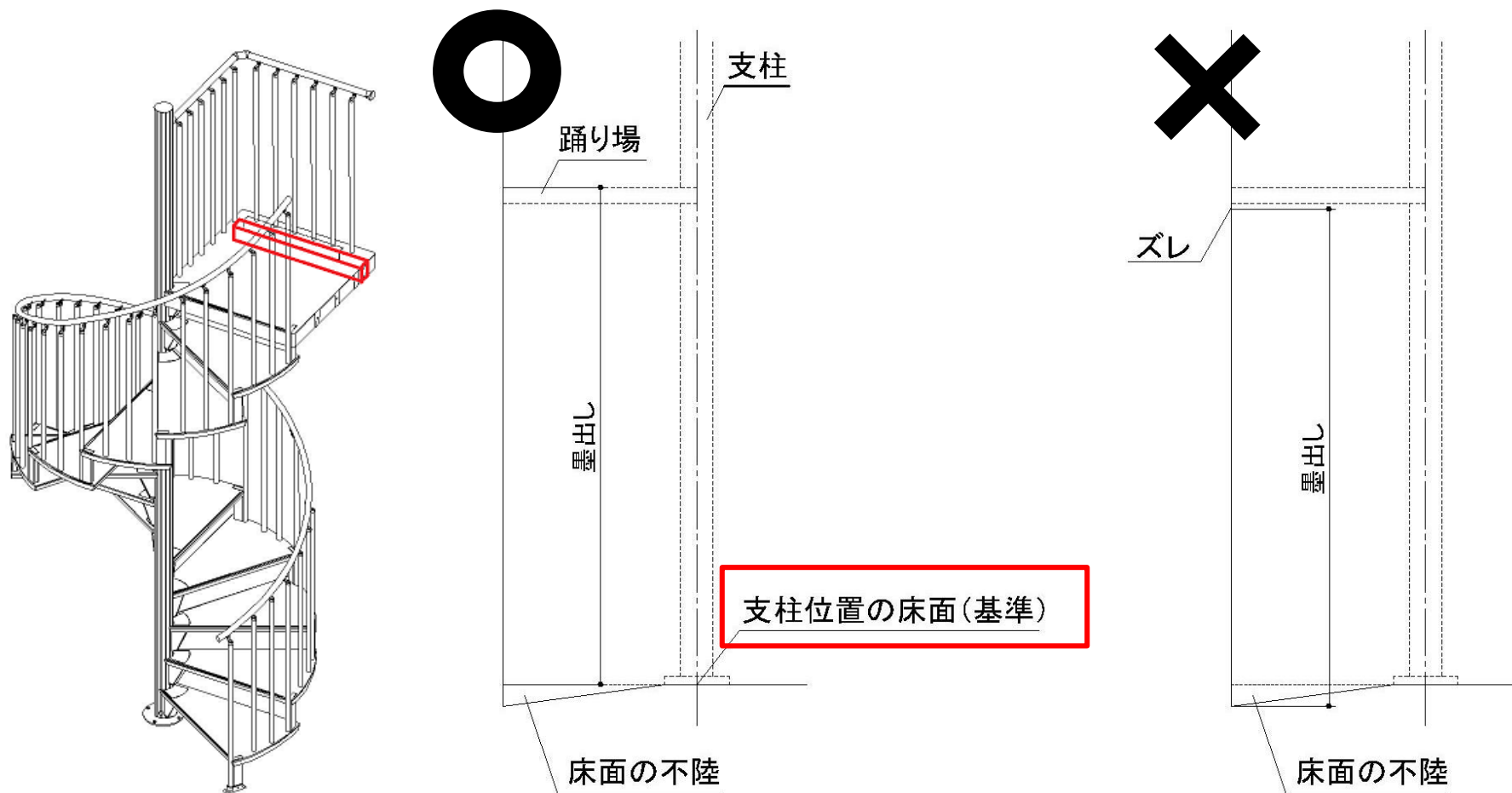
取説をみながら、取付け位置を確認してください。

踊り場と支柱の取り付け



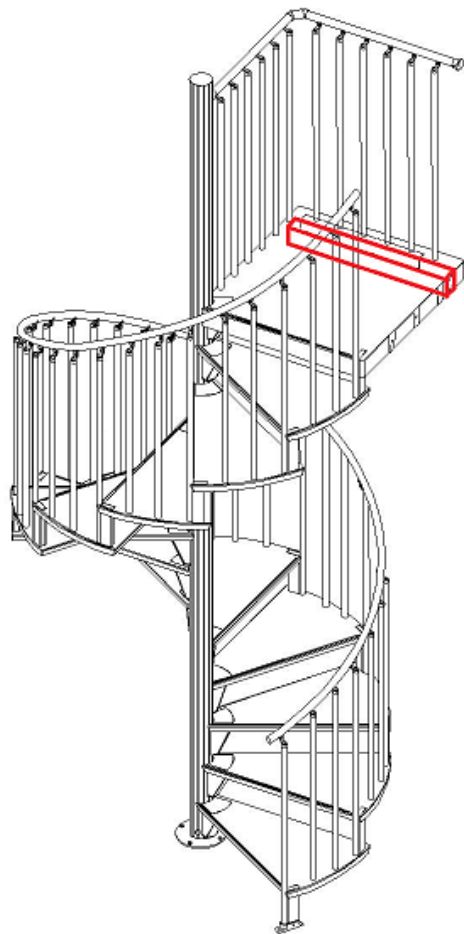
支柱中心位置を墨出ししてください。

踊り場と支柱の取り付け



**取付けが出来なくなるので、
墨出しは支柱位置の床面を基準に行ってください。**

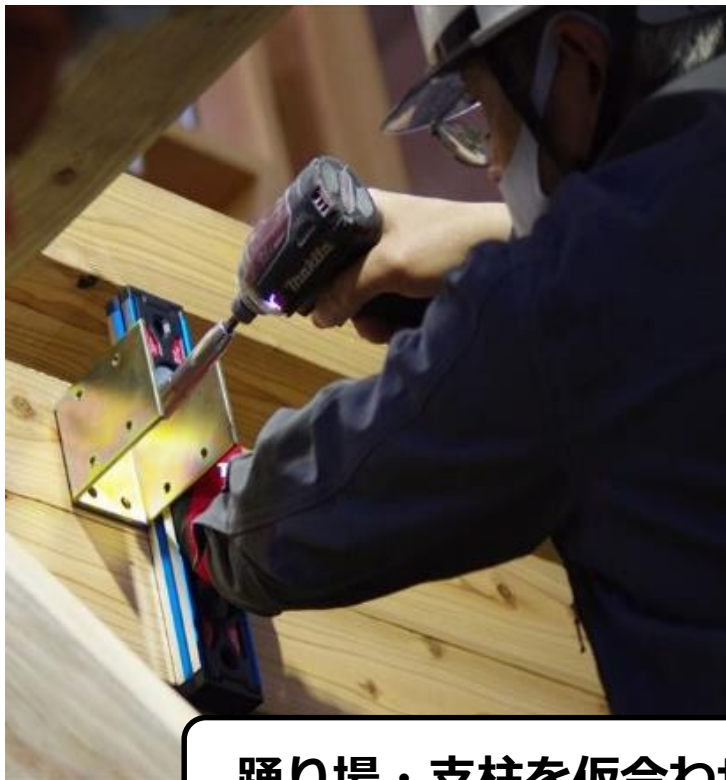
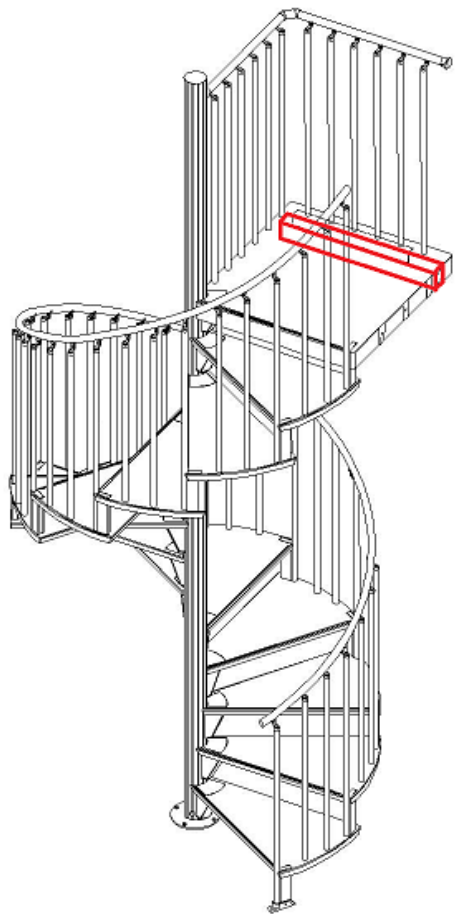
踊り場と支柱の取り付け



詳細寸法は取説を参照ください

ブラケット取付け穴1点の位置を墨出しすること。

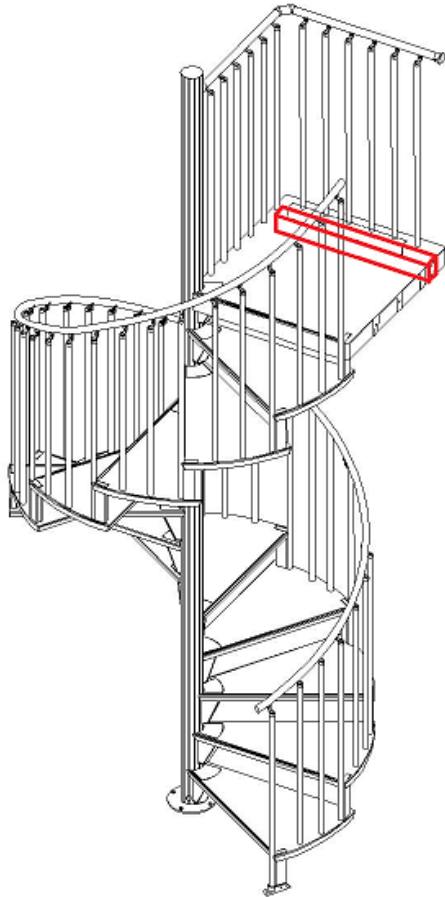
踊り場と支柱の取り付け



踊り場・支柱を仮合わせした後に本固定します。

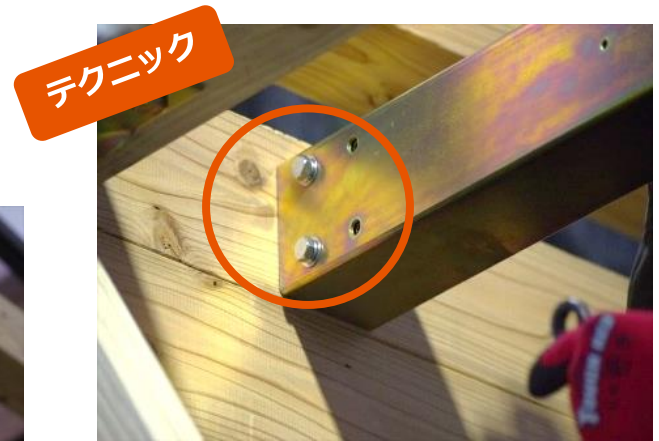
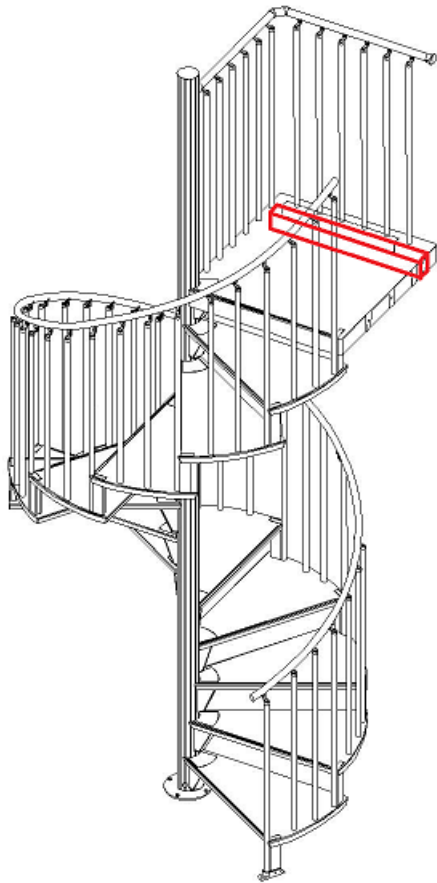
水平・垂直を見ながらブラケットの1点を固定する。

踊り場と支柱の取り付け



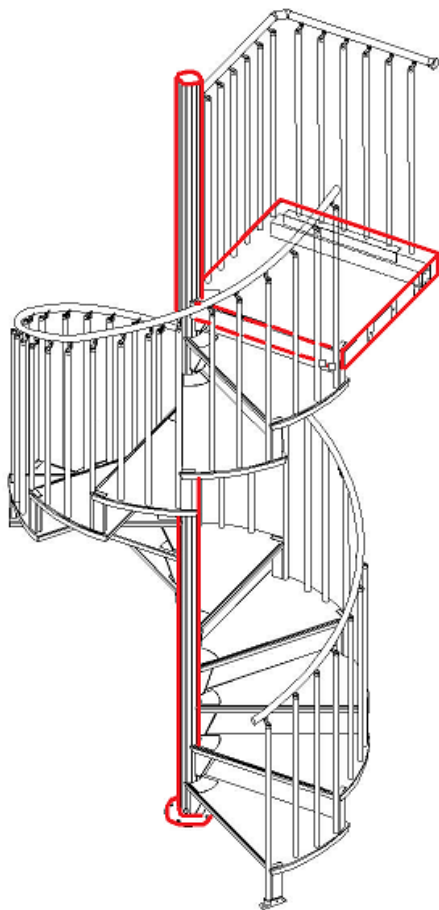
**補強材と踊り場位置が合わなくなりますので、
水平・垂直を必ず確認してください。**

踊り場と支柱の取り付け



水平・垂直を確認し、補強材片側2点づつを仮止めします。

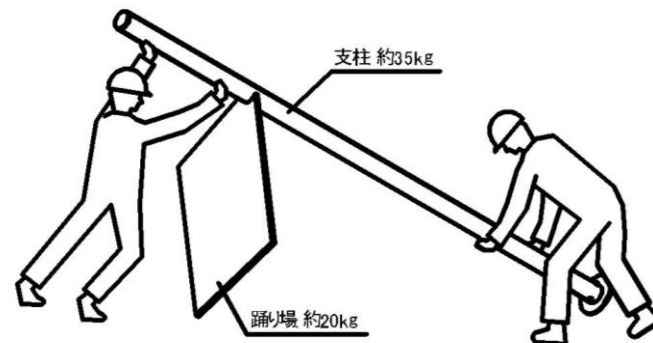
踊り場と支柱の取り付け



⚠ 警告



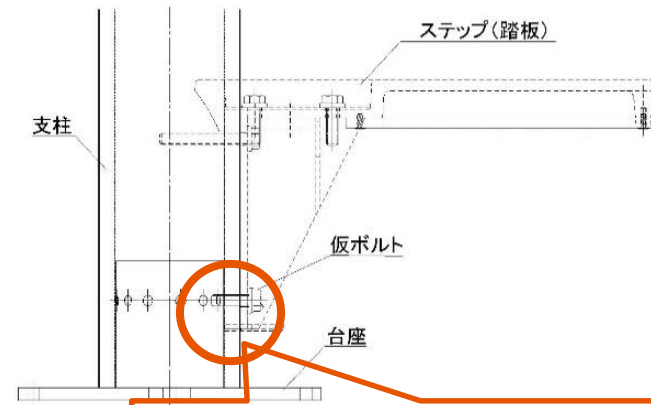
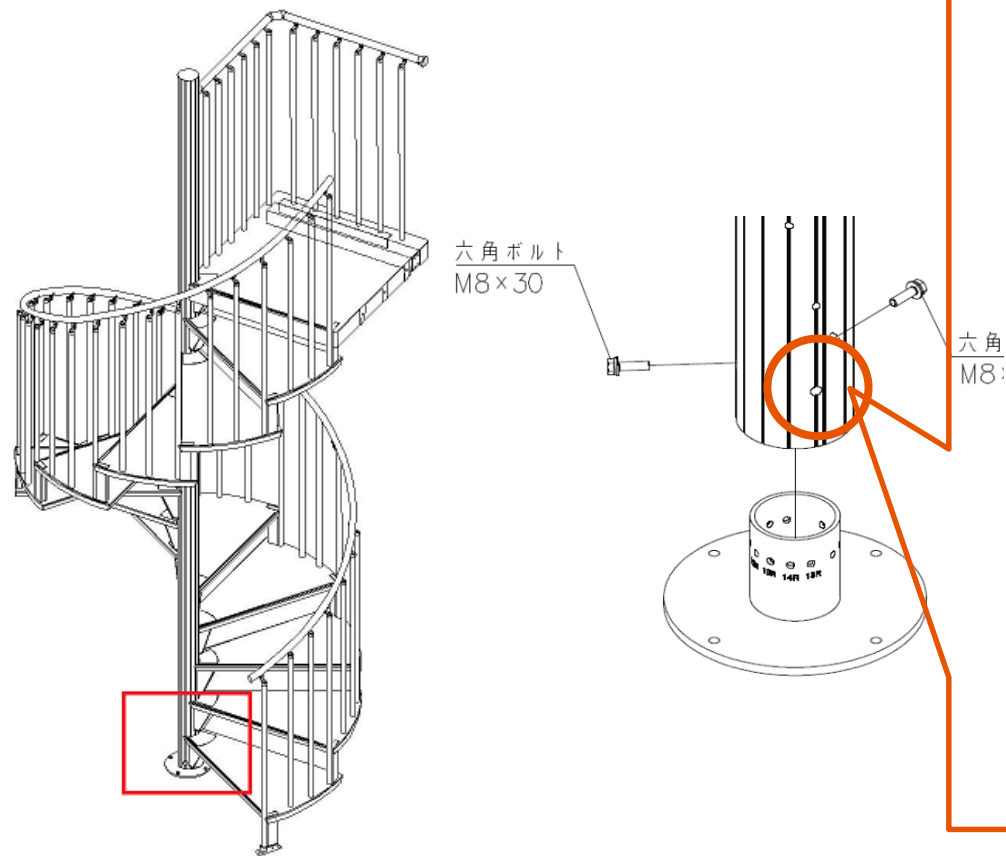
●支柱と踊り場は、
3人以上で施工してください。
製品の倒れ・落下によりケガを
するおそれがあります。



合計 約 55kg

支柱へ踊り場を固定します。

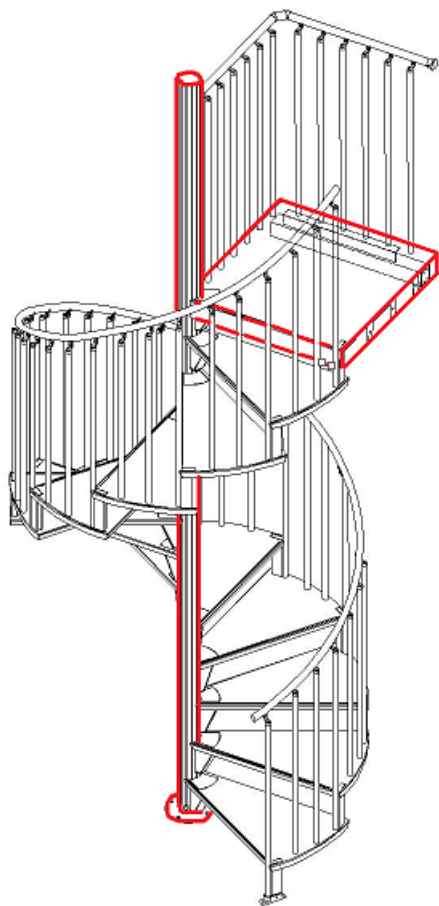
踊り場と支柱の取り付け



**ボルト固定3点は完全に中心にするために
均等に仮固定してください。**

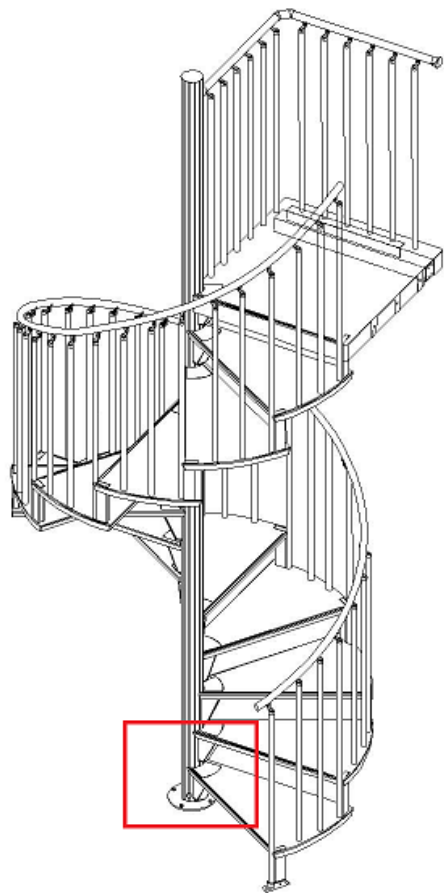
踊り場と支柱の取り付け

安全に配慮して施工しています。

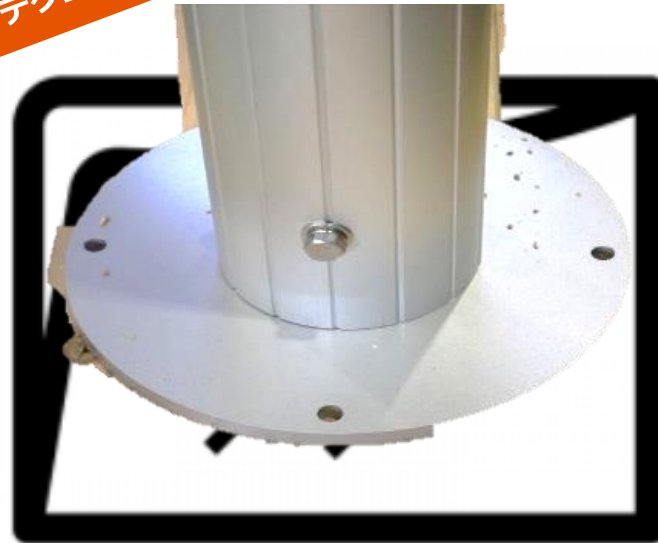


施工の際には3人以上で扱うなど取り付けには十分ご注意ください。

踊り場と支柱の取付け



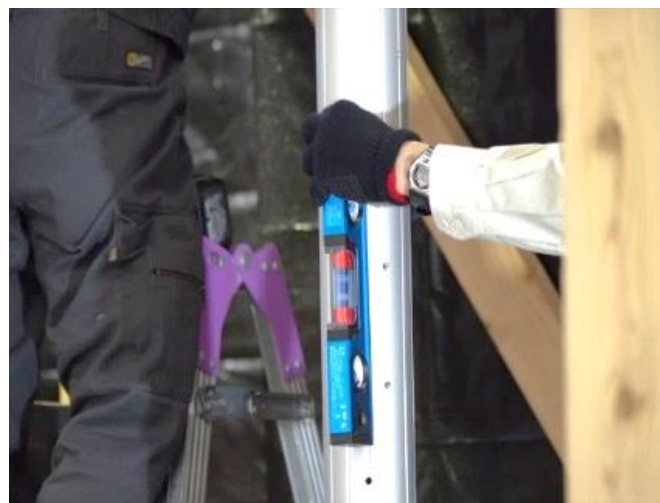
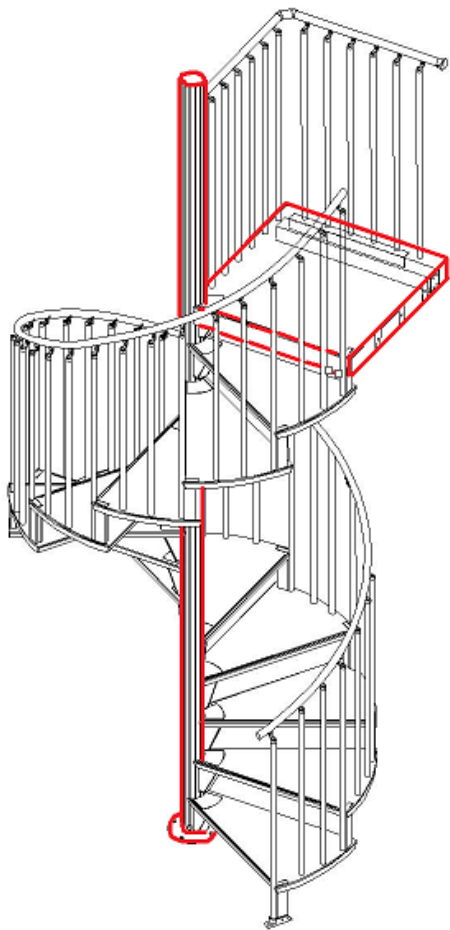
テクニック



クリアファイル

床の養生及び支柱位置微調整の際、
クリアファイルを下敷きにすると作業しやすくなります。

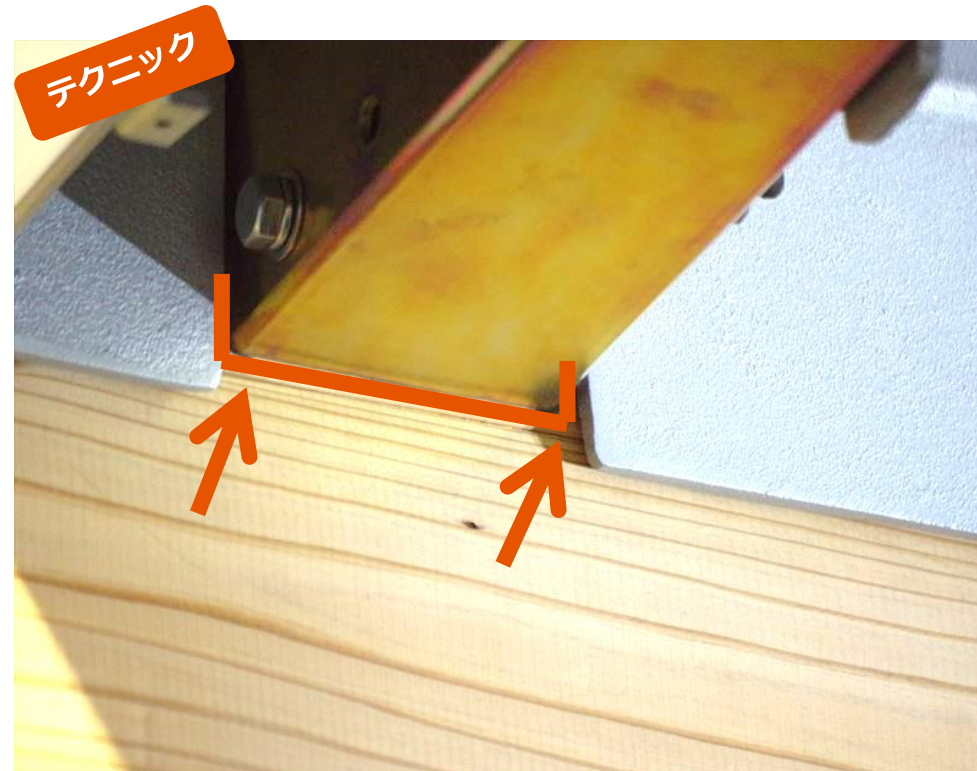
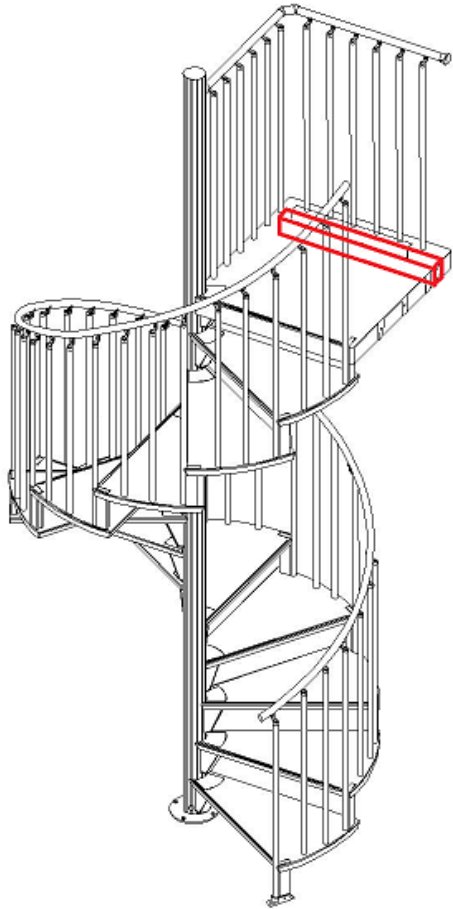
踊り場と支柱の取り付け



水平・垂直・ねじ穴を確認

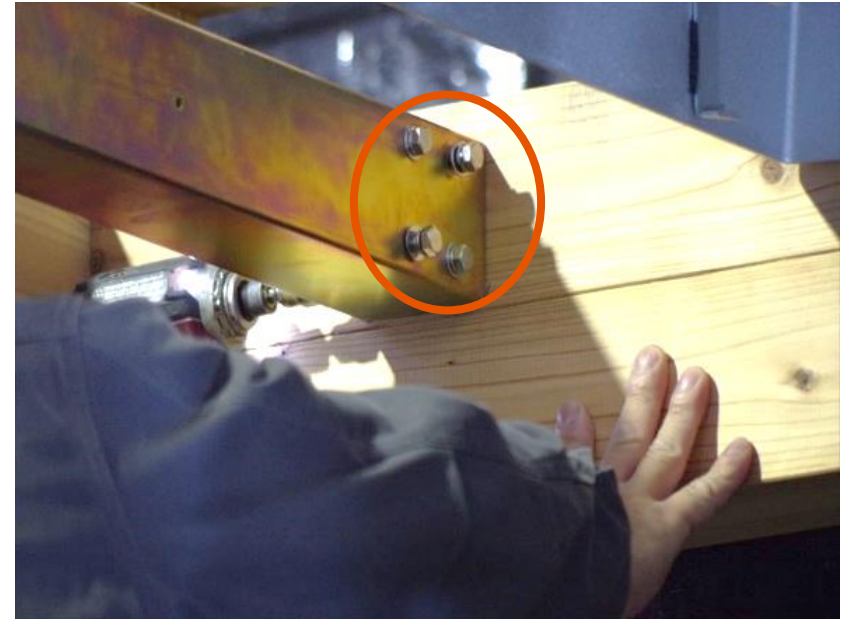
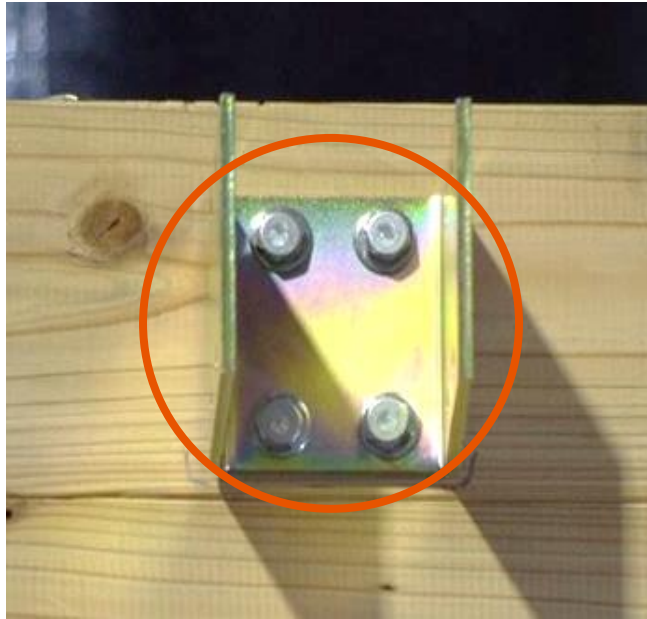
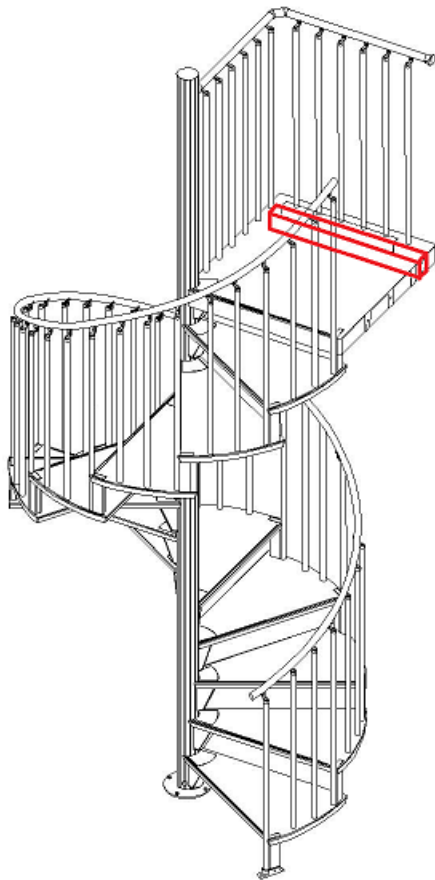
補強材と踊り場、支柱を仮合わせする。

踊り場と支柱の取り付け



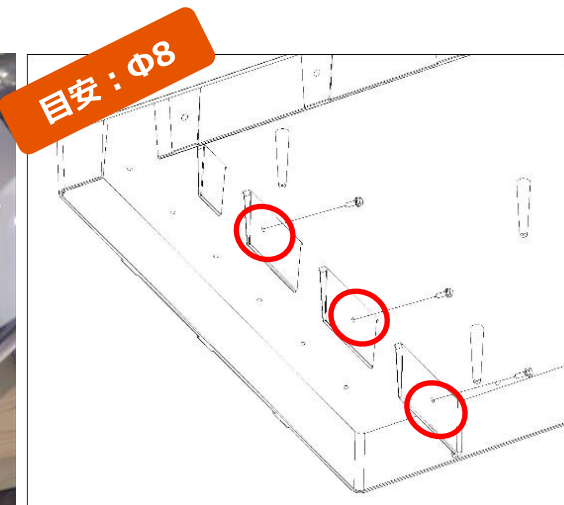
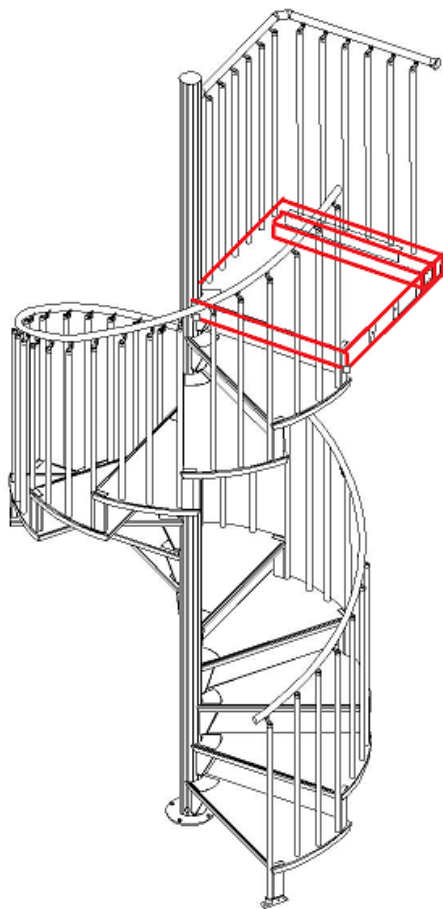
一旦外すので、補強材位置をマーキングしてください。

踊り場と支柱の取り付け



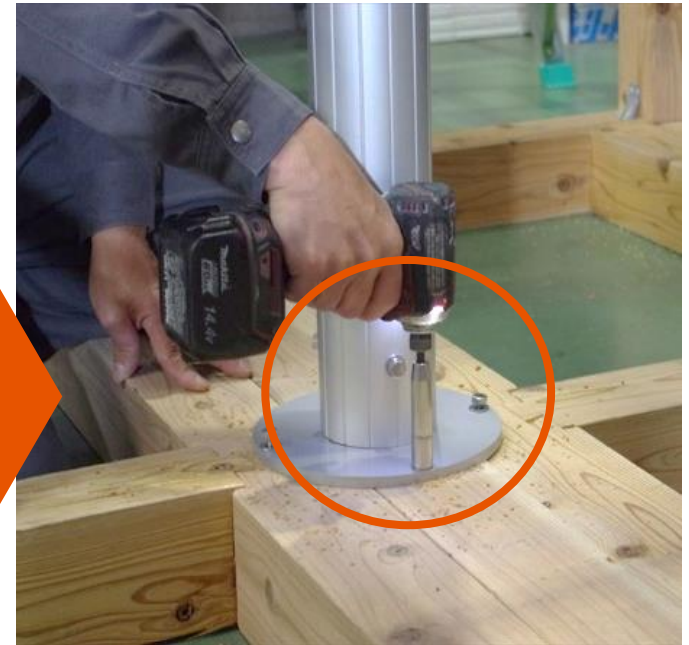
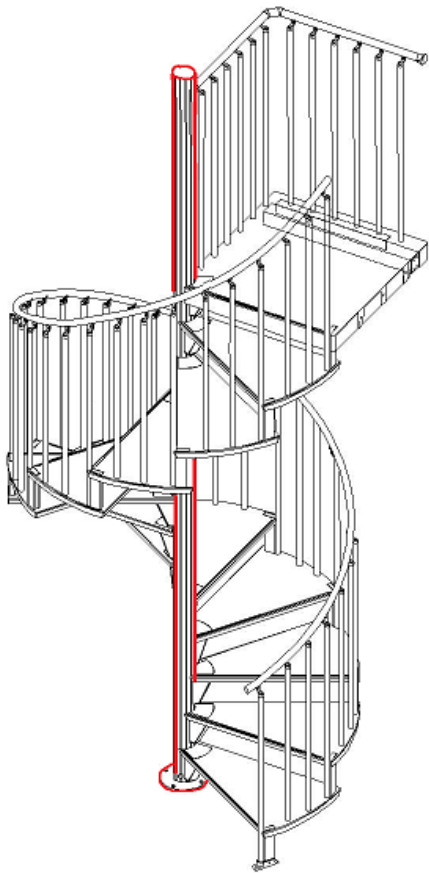
ブラケット及び補強材を本固定します。

踊り場と支柱の取り付け



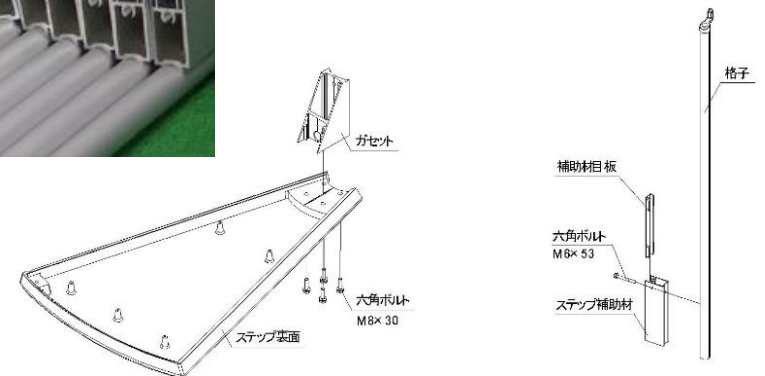
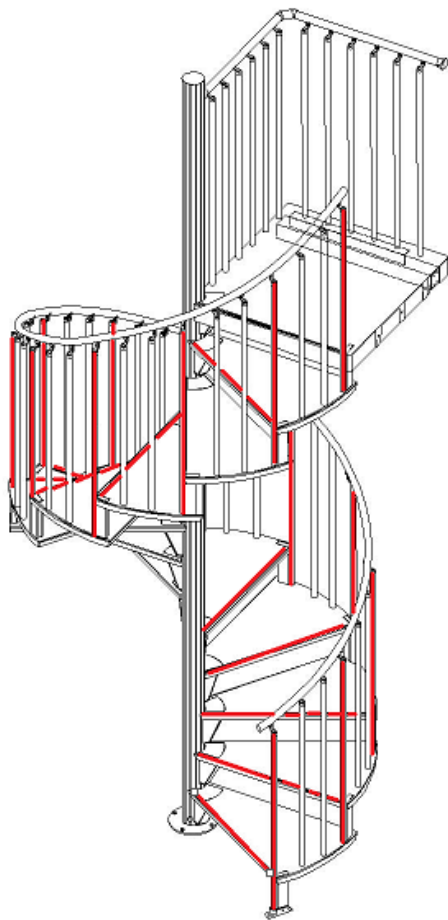
補強材とねじ位置は合わせにくいので、あらかじめめ穴を大きくすると取付けしやすくなります。

踊り場と支柱の取り付け



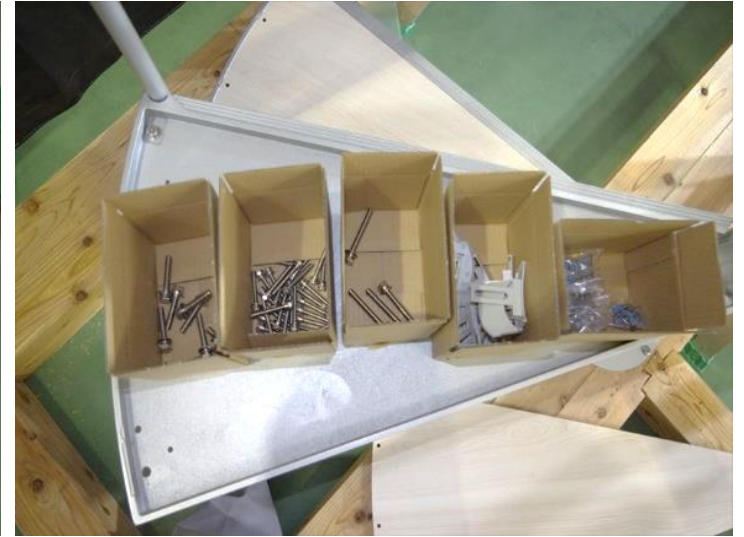
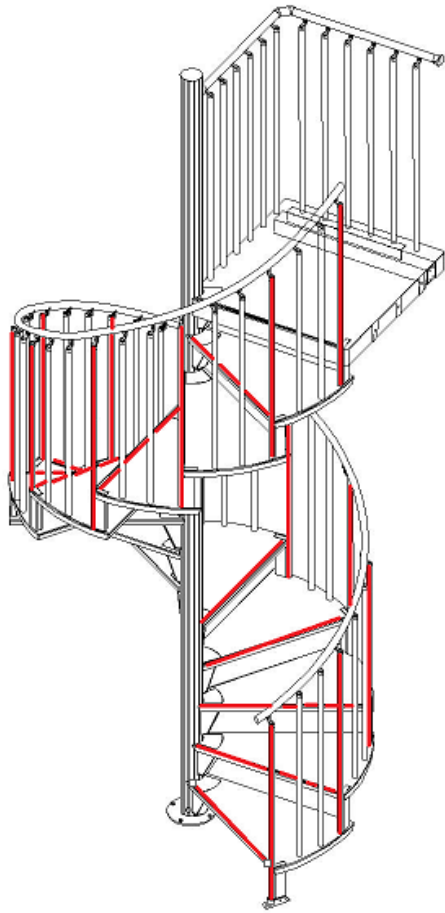
踊り場固定後、支柱の垂直を確認して台座を固定します。

ステップと格子の取り付け



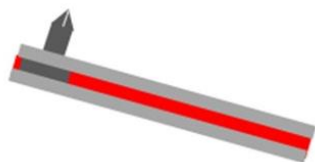
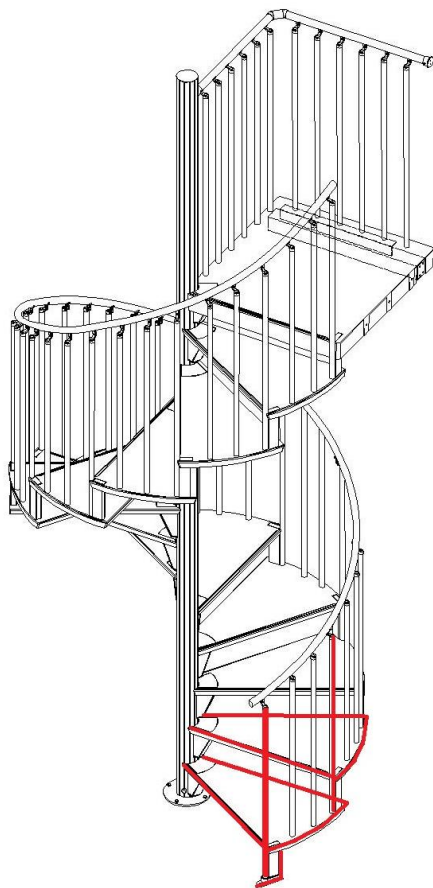
踏板、格子を組み立てておくと作業しやすくなります。

ステップと格子の取り付け



事前にねじ、パーツを小分けしておくと作業しやすくなります。

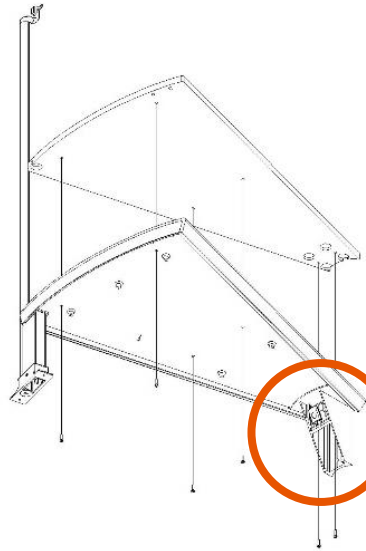
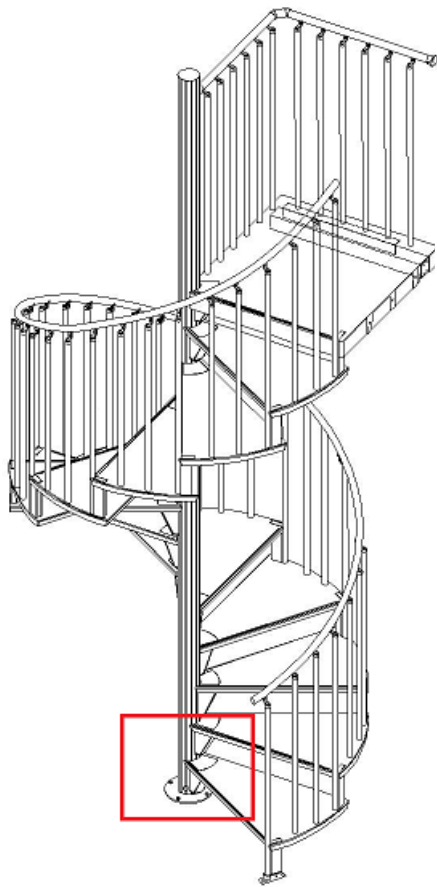
ステップと格子の取り付け



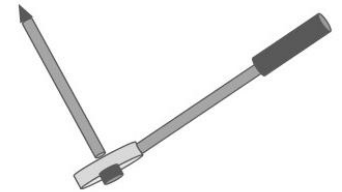
1段目裏は狭いので、
オフセットドライバーが便利

1段～2段目ステップを施工します。
1段目のみ木踏板を取り付けます。

ステップと格子の取り付け



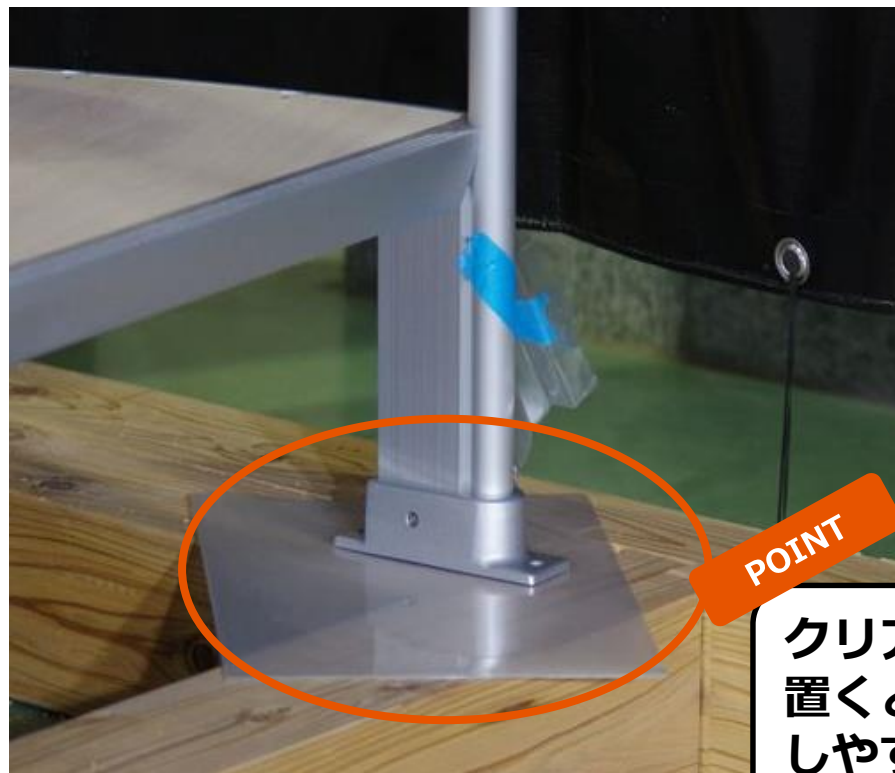
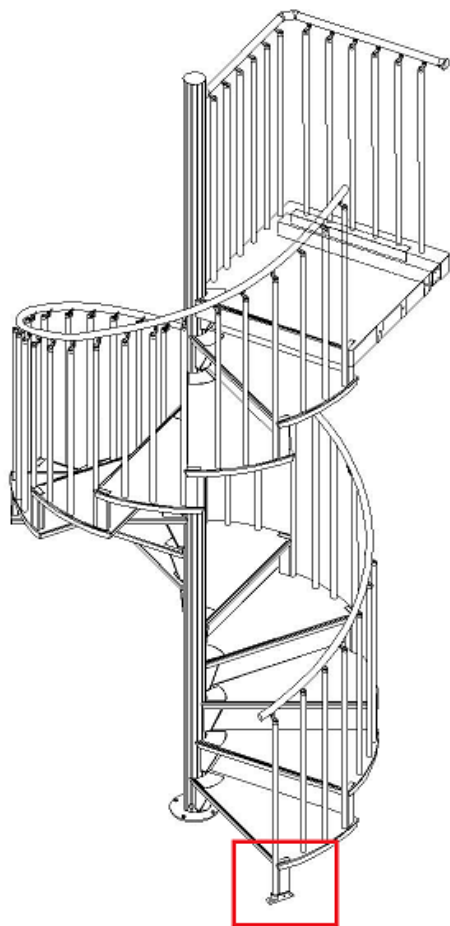
テクニック



ラチェットドライバー

狭い場所があるので、ラチェットドライバーをお勧めします。

ステップと格子の取り付け

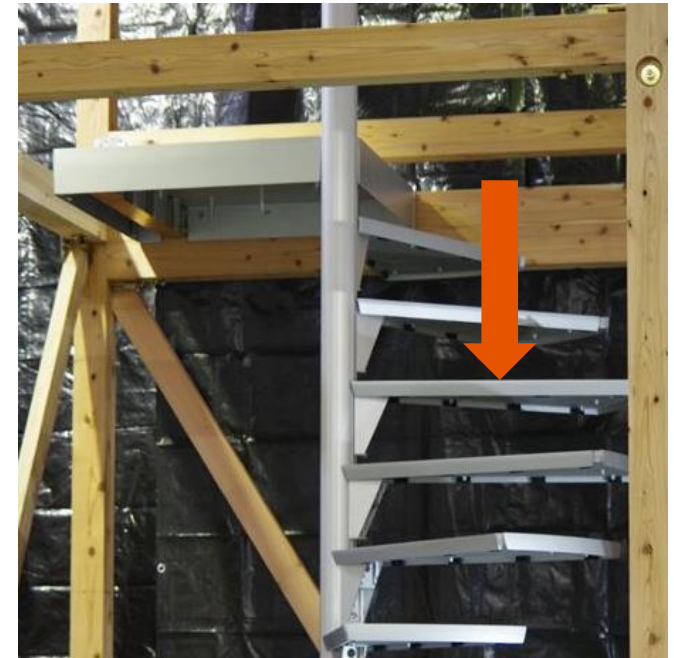
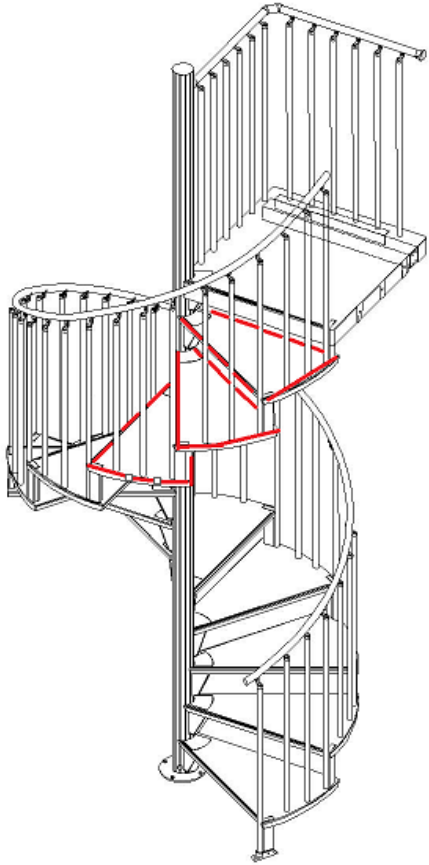


POINT

クリアファイルを挟んで
置くと床保護と位置調整が
しやすくなります。

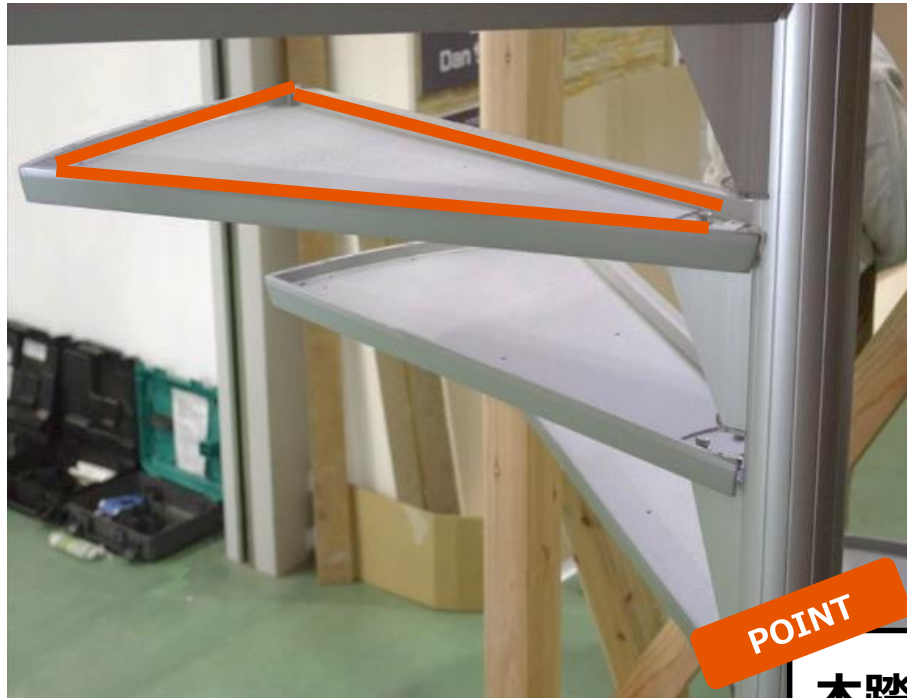
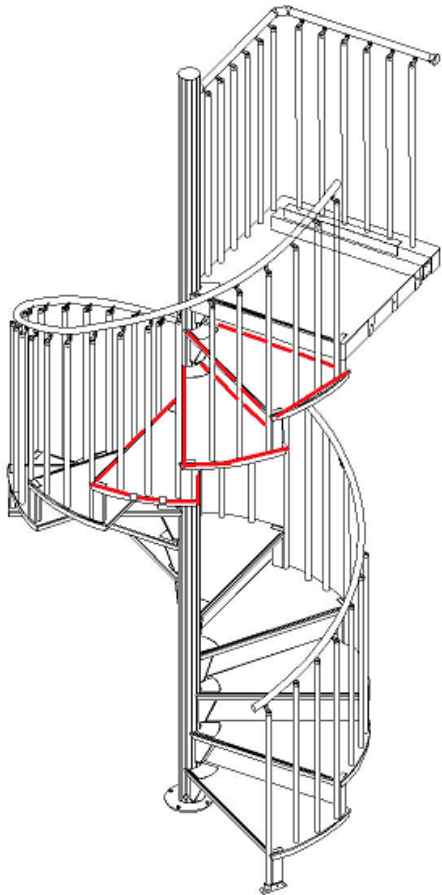
全体の踏板位置を調整するので、床固定は最後に行うこと。

ステップと格子の取り付け



次に、上段部からステップの取り付けをする。

ステップと格子の取り付け

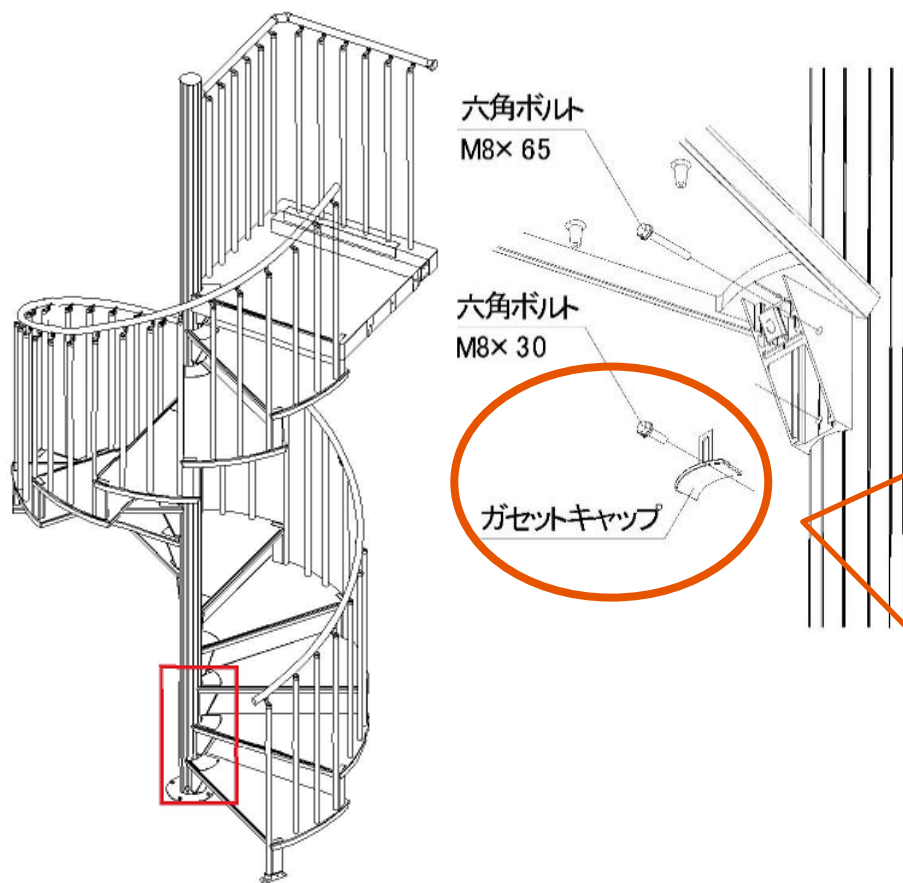


POINT

木踏板は後から施工する。

1段目以外はステップのみ取り付けます

ステップと格子の取り付け

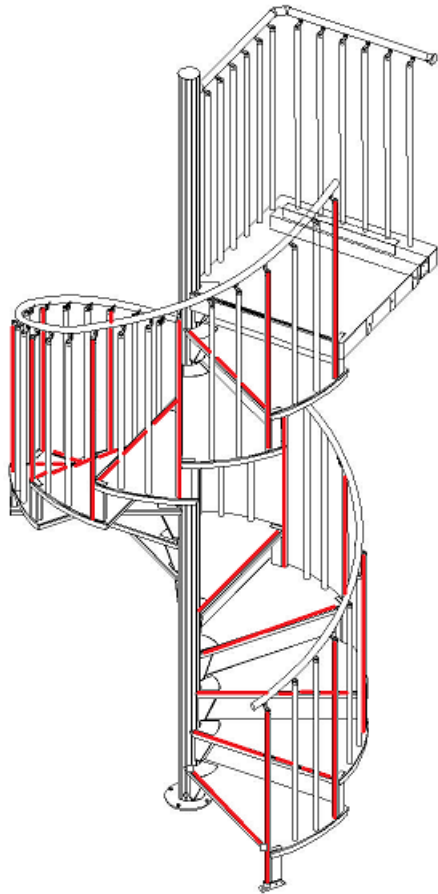


締付トルク
目安 3.0～3.5N・m



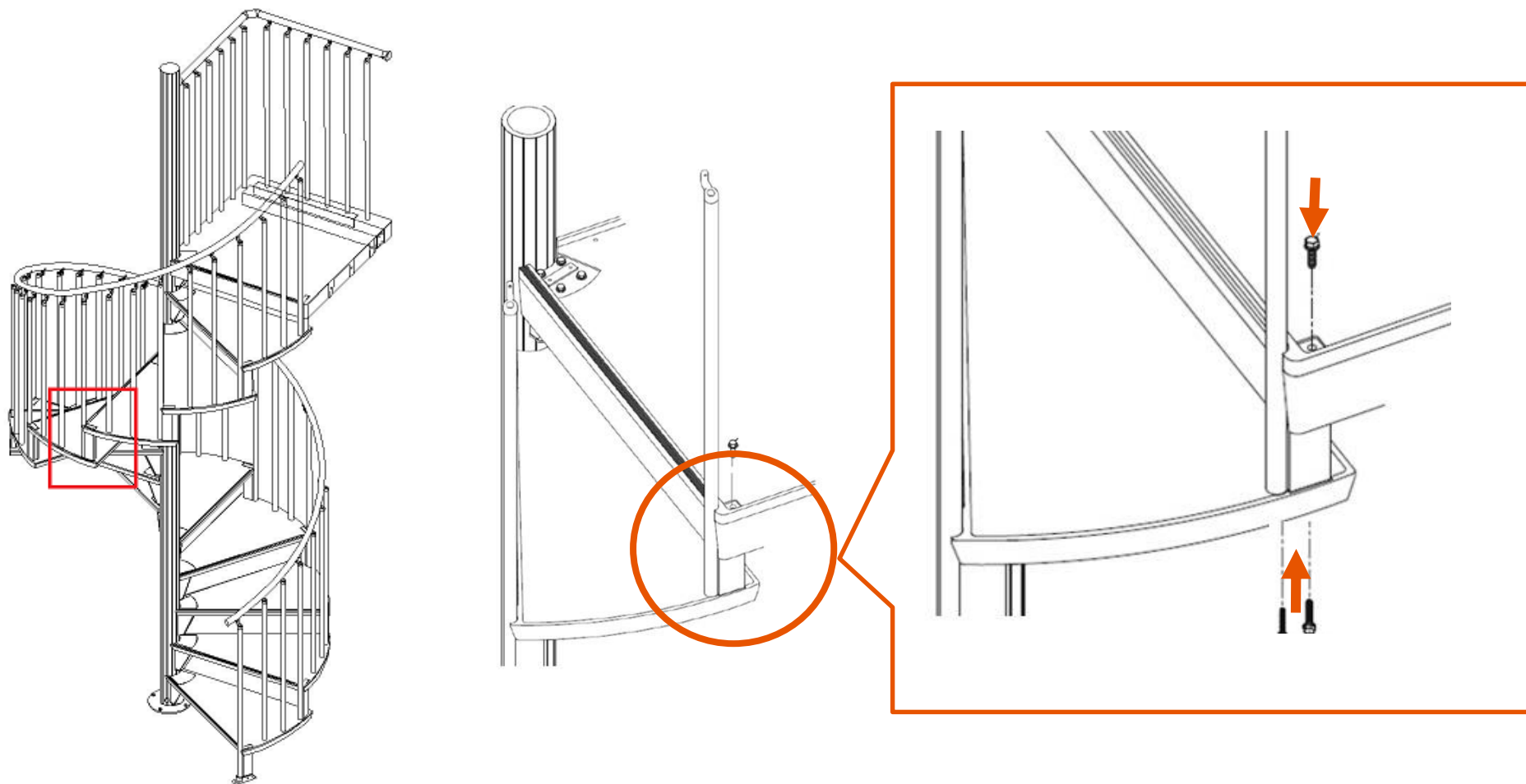
ガゼットキャップが少し変形する程度まで締めて下さい。

ステップと格子の取り付け



木踏板を載せ、格子でステップを連結します。

ステップと格子の取り付け

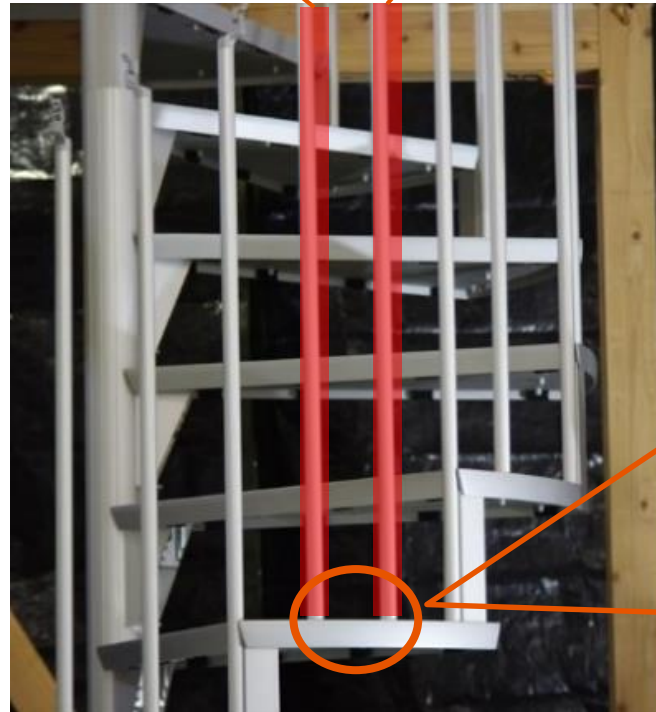
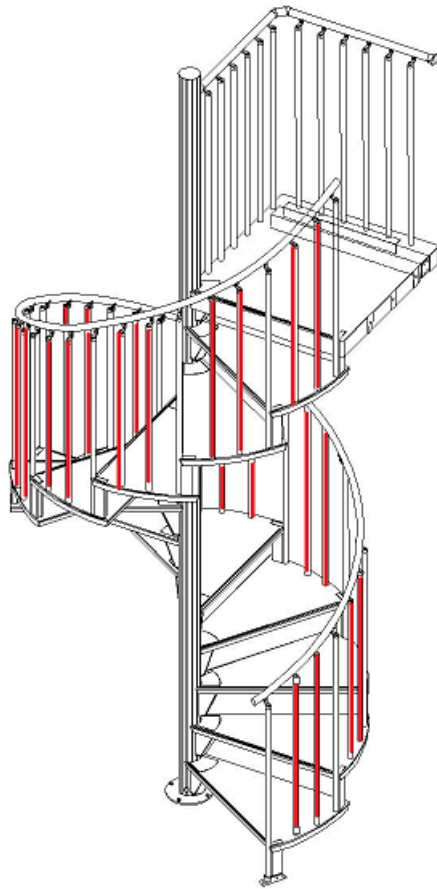


踏板板及び、格子位置を合わせながら連結してください

ステップと格子の取り付け

2番格子

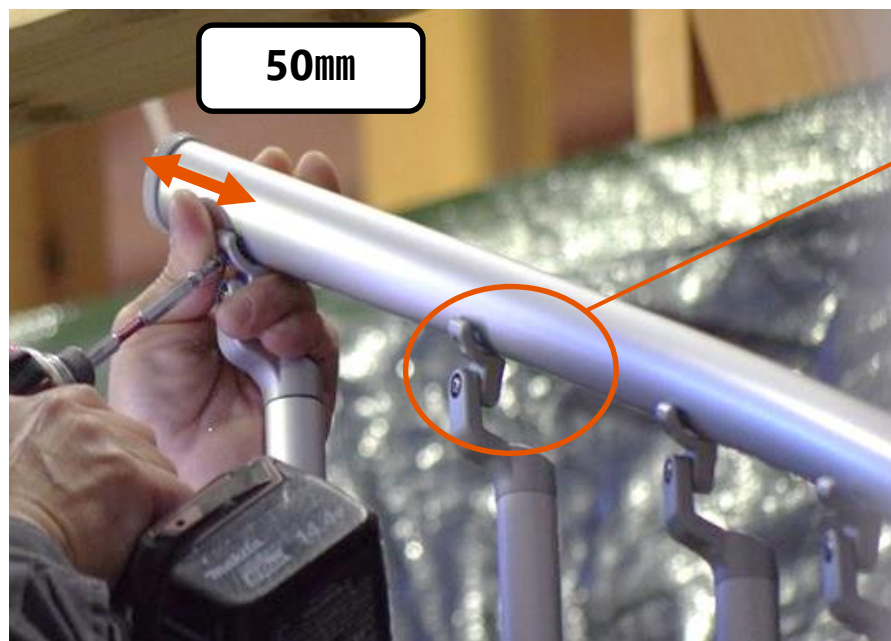
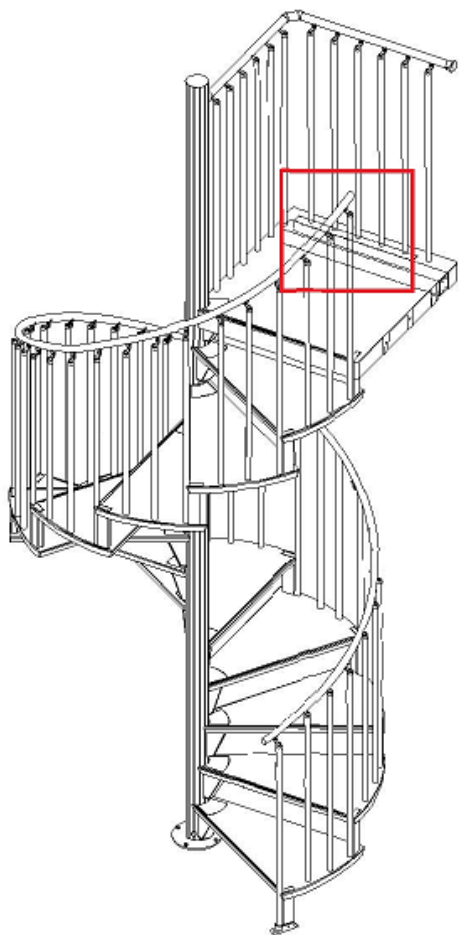
3番格子



ステップへ2・3番の格子を取付けます。

手すりの取り付け

始点を短めにする事で
最後で調整しやすくなります。



階段部

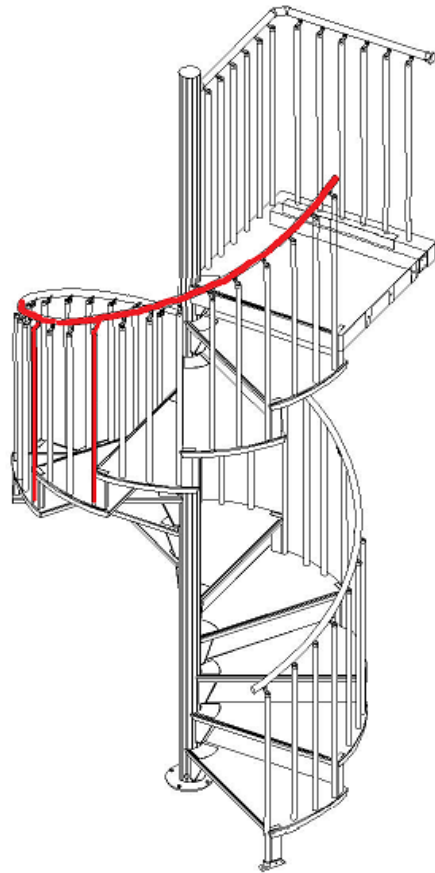
【手すり 固定金具 取り付け方向】



手すり向きに注意

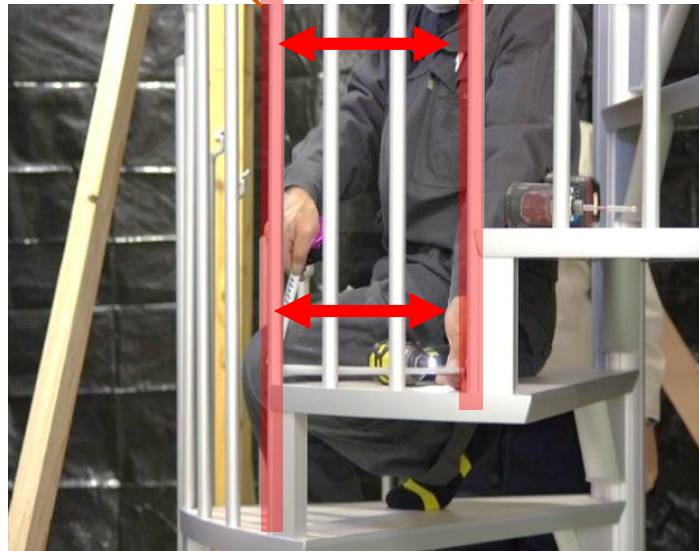
仮合わせしてから、50mm程度出して固定してください。

手すりの取り付け



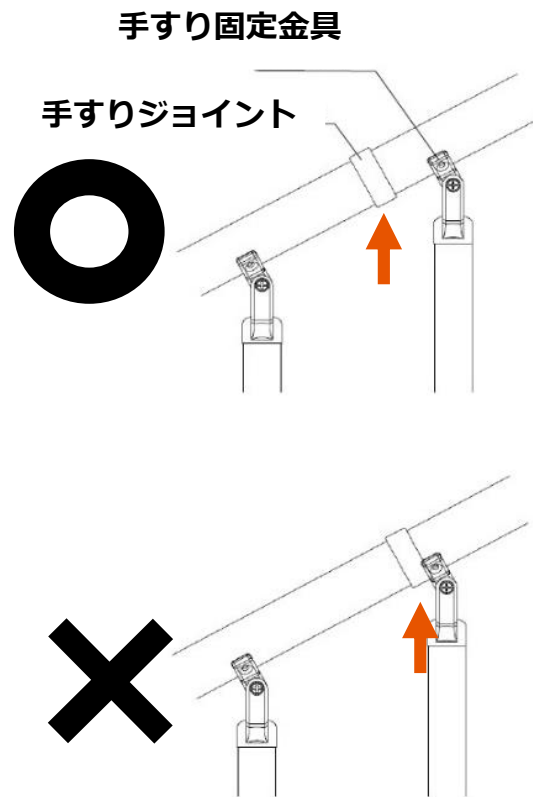
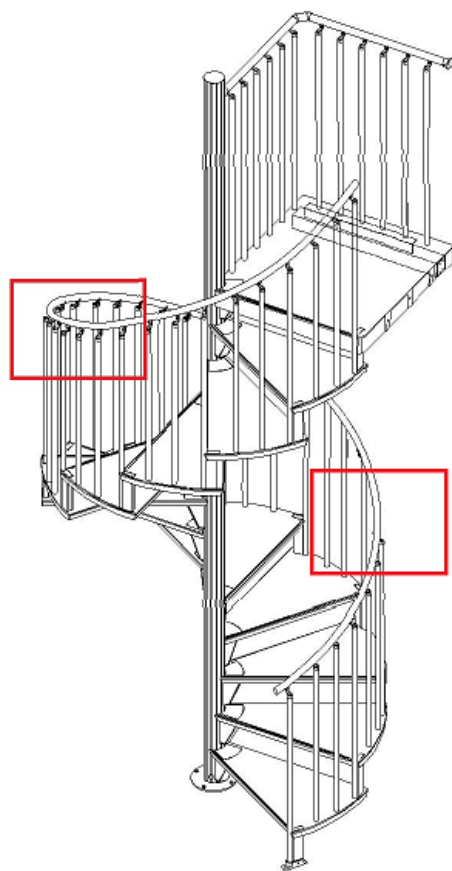
1番格子

4番格子



**1番・4番格子間ピッチ寸法を確認しながら、
手すりを固定してください。**

手すりの取り付け



POINT

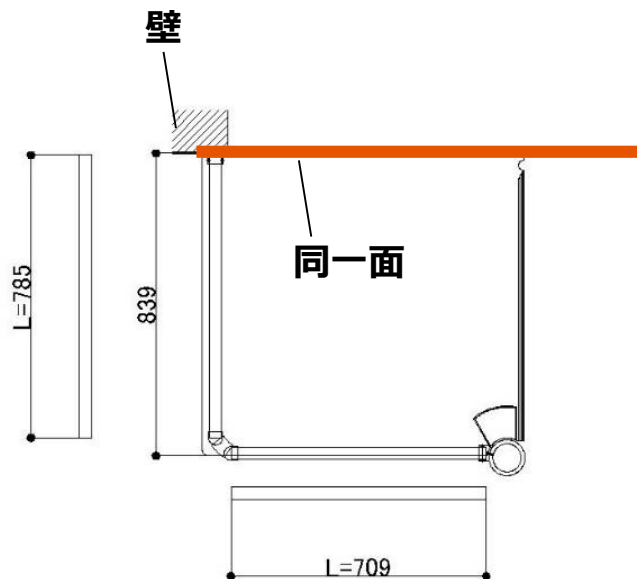
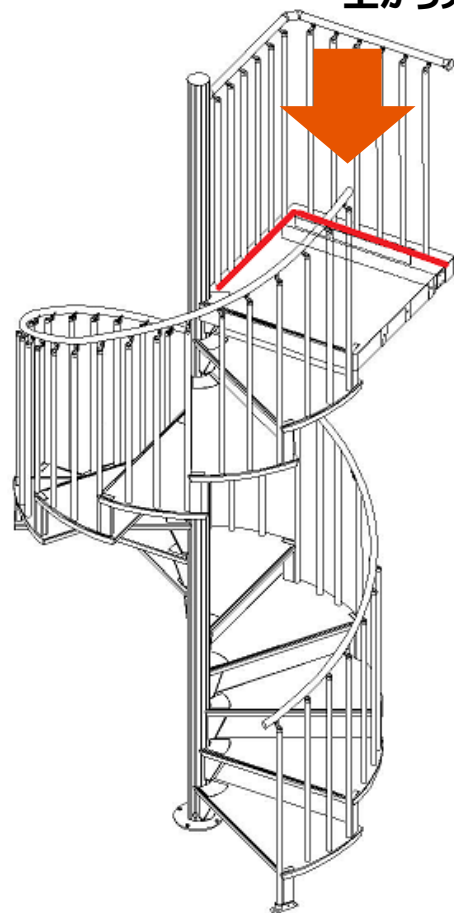
切断箇所を罫書いてから、
切断してください。



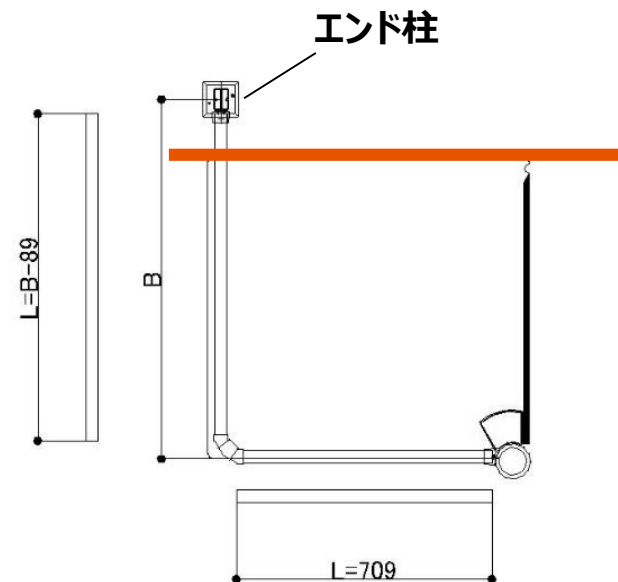
手すりジョイントと手すり固定金具が重なった場合
取付けが出来ません。

手すりの取り付け

上から見た図になっています。



例 平面踊り場納まり_壁（標準）



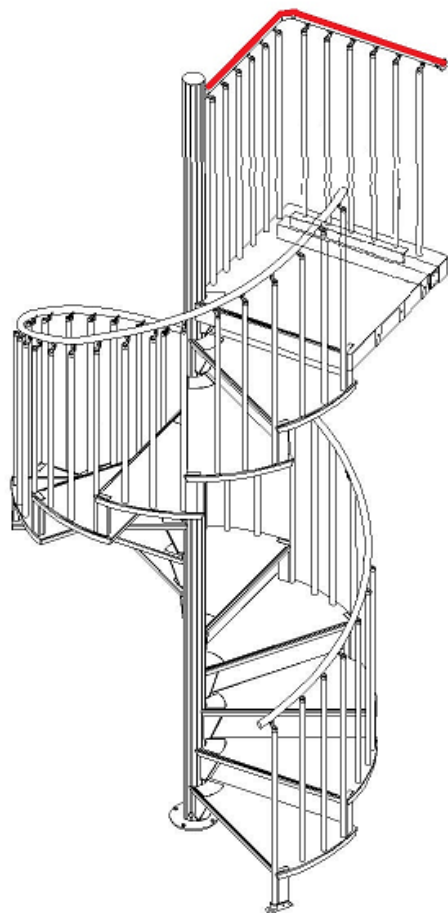
例 平面踊り場納まり_エンド柱

POINT

踊り場手すりの納まりに合わせて取付けてください。

施工説明書の計算式を参考に現物合わせで長さを決めてください。

手すりの取り付け



踊り場部

【手すり 固定金具 取り付け方向】

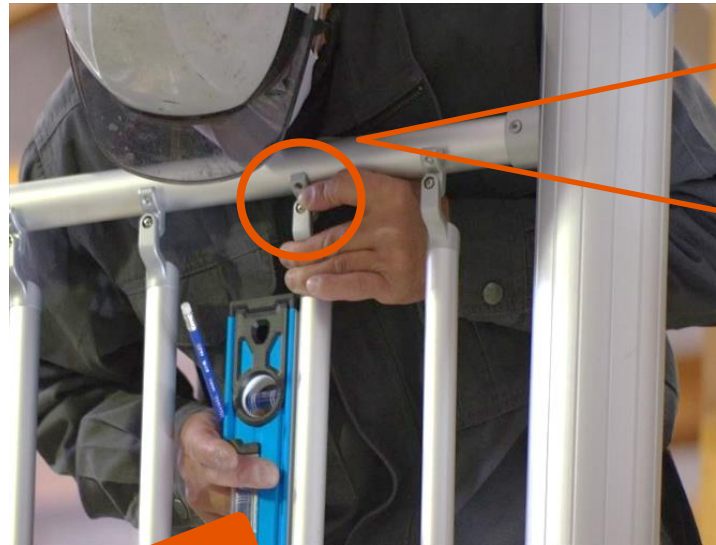
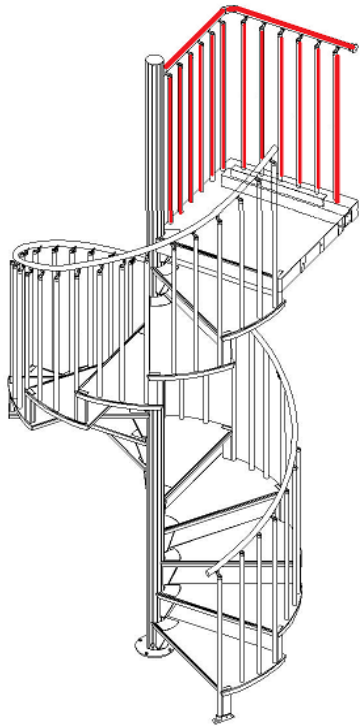


POINT

手すり向きに注意。

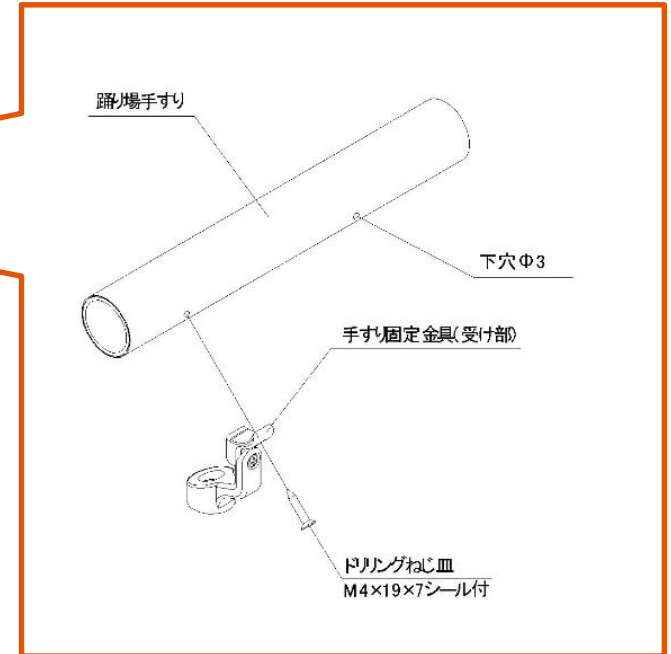
踊り場手すりの納まりに合わせて取付けてください。

手すりの取り付け



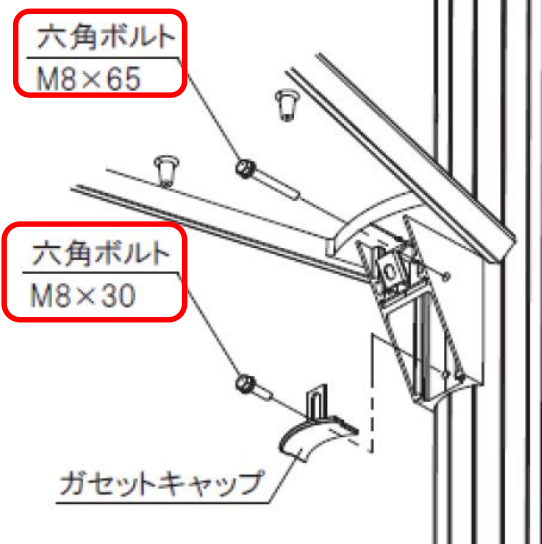
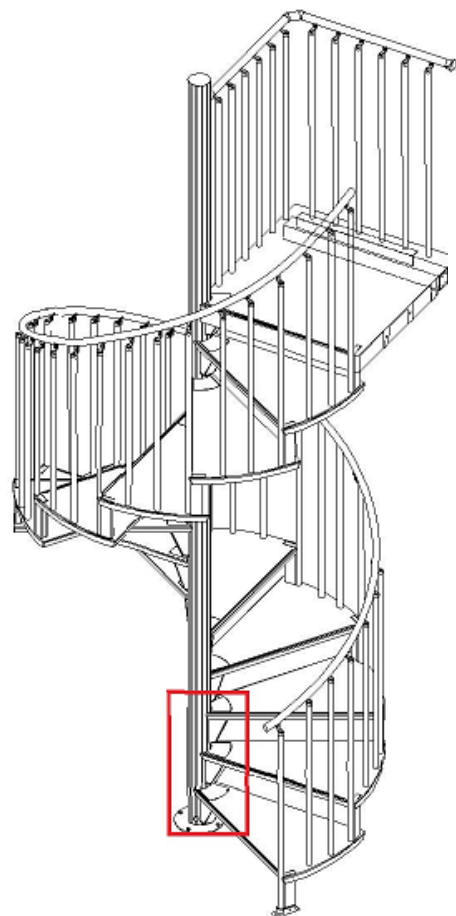
POINT

垂直確認



垂直を見ながら格子と手すりを固定してください。

カバーの取り付け



六角ボルト
M8×65

六角ボルト
M8×30

ガセットキャップ

締め忘れ注意

POINT

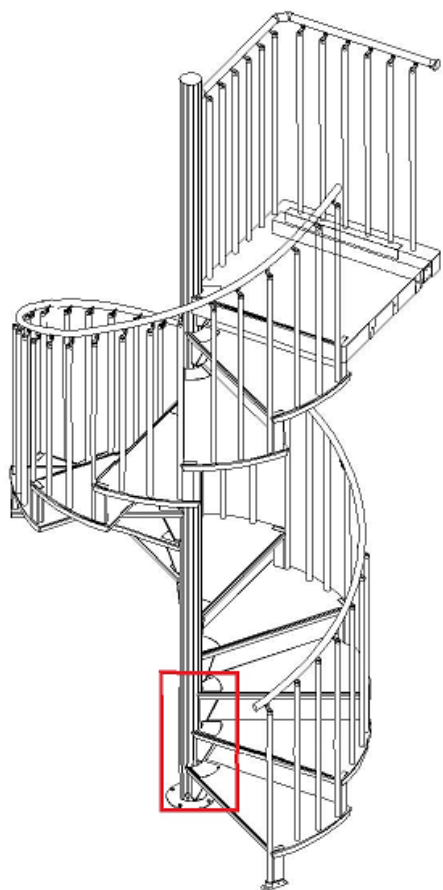
カバーは破壊しないと外れません。



ガセットカバー

ガセットカバー取付け前に
ボルトの締め忘れが無いことを確認してください。

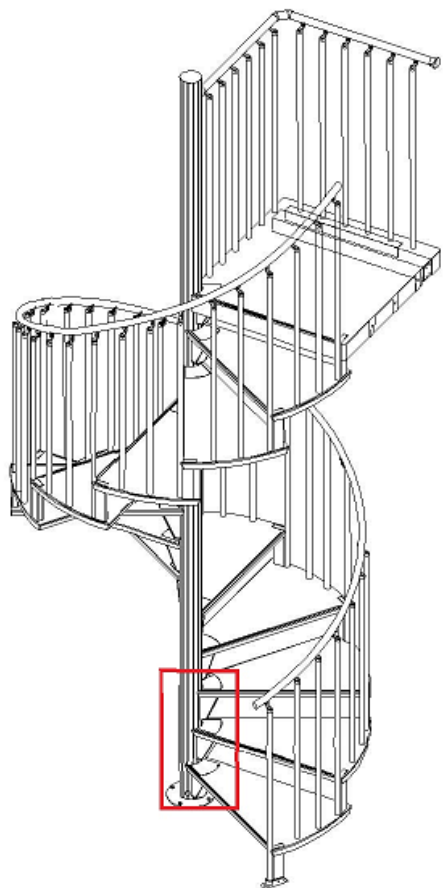
カバーの取り付け



ガセットカバーを外す場合

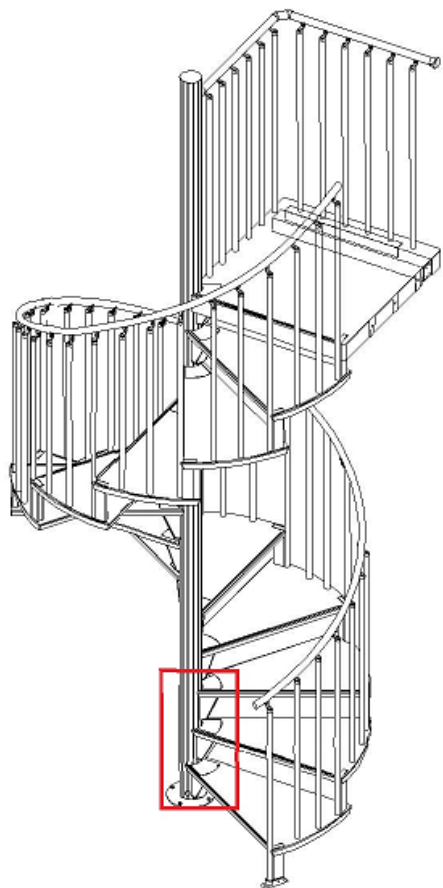
カバーを無理に外すと内部の樹脂部品が破損します。

カバーの取り付け



カバーを無理に外すと内部の樹脂部品が破損します。

カバーの取り付け



正常品

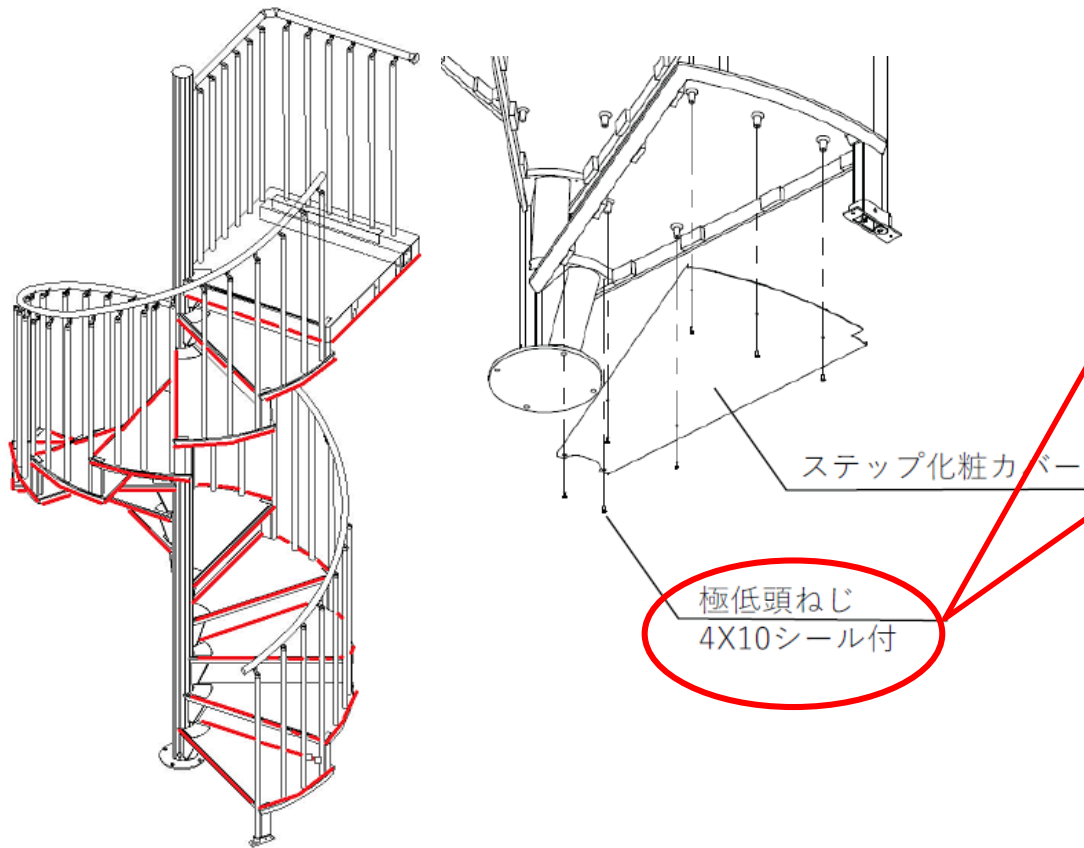
破損品



交換が必要です。

カバーを無理に外すと内部の樹脂部品が破損します。

カバーの取り付け

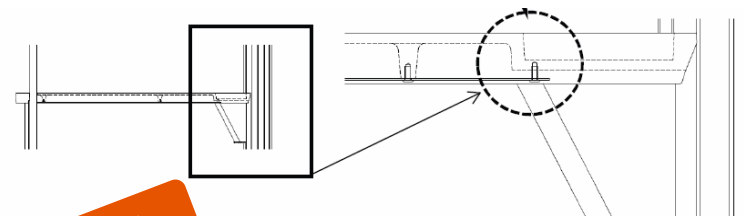
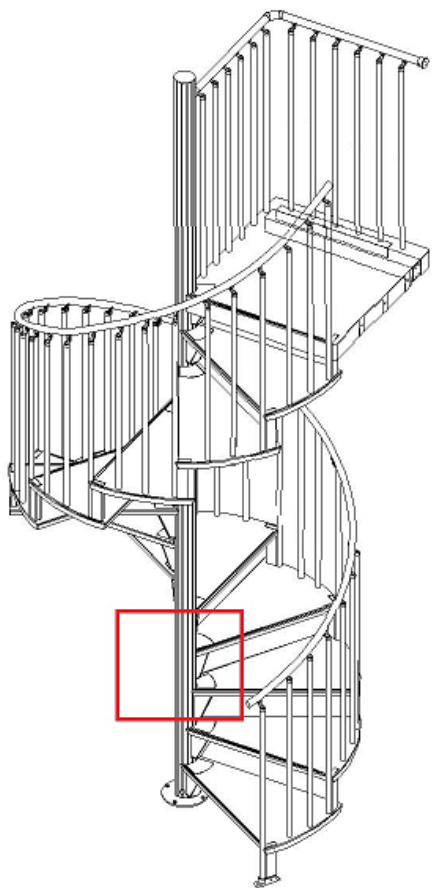


POINT

異音になりますので、
ねじは確実に締めてください。

塗装および緩み止めにより、ねじが締めにくいので
あらためてタップ加工をしてください。

カバーの取り付け



POINT

ねじ締付けトルク
目安 2~2.5N・m

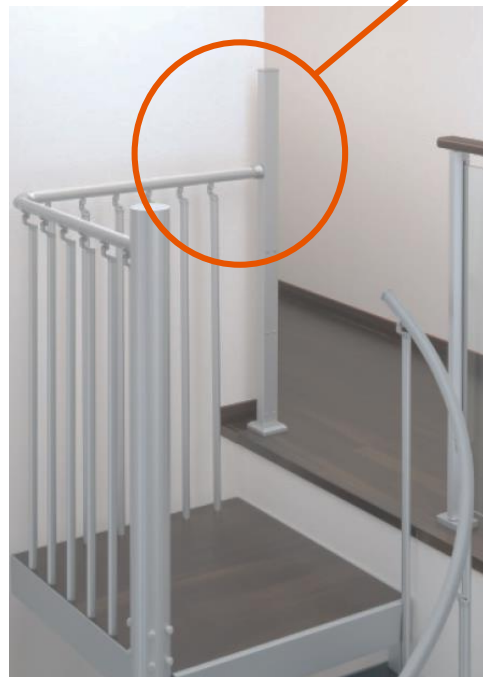
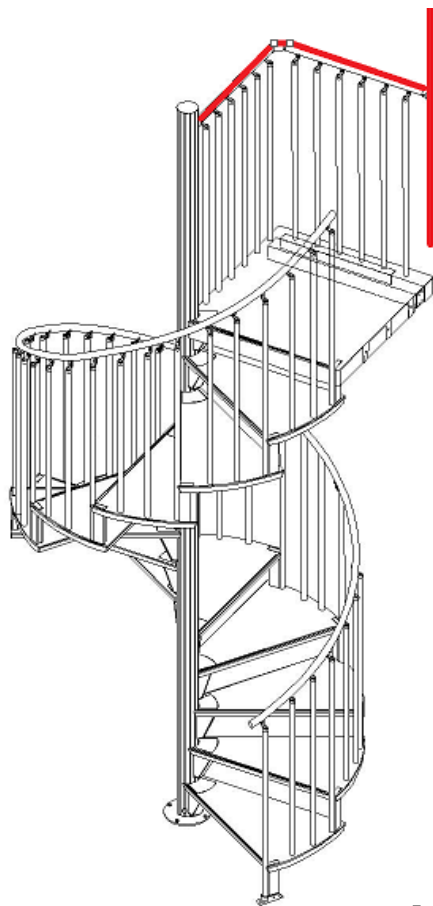


締めすぎ注意

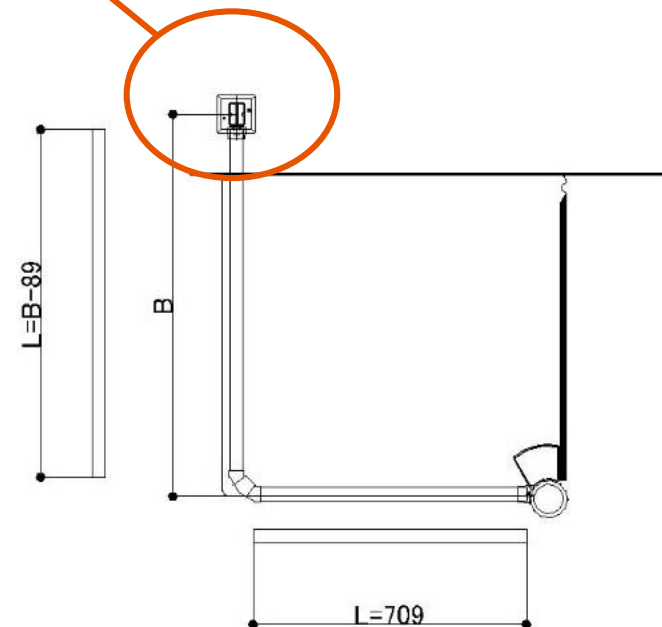
裏面カバー（支柱側）の締めすぎに注意してください。

オプションの取り付け

オプション：エンド柱納まりの場合



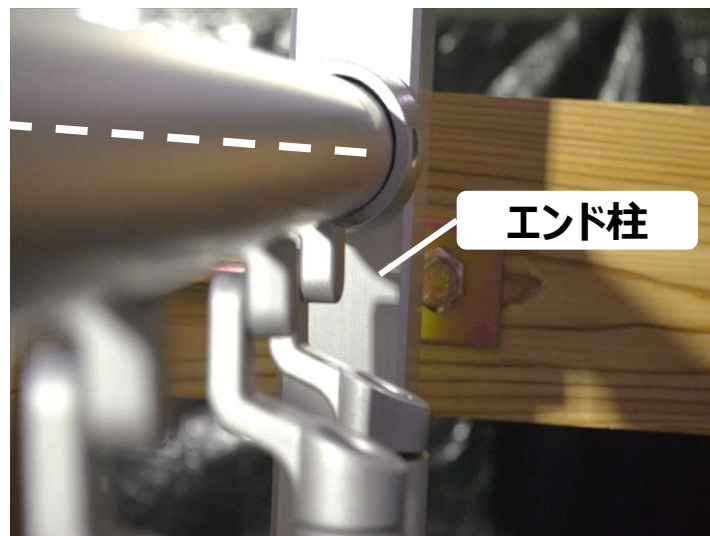
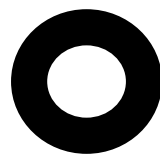
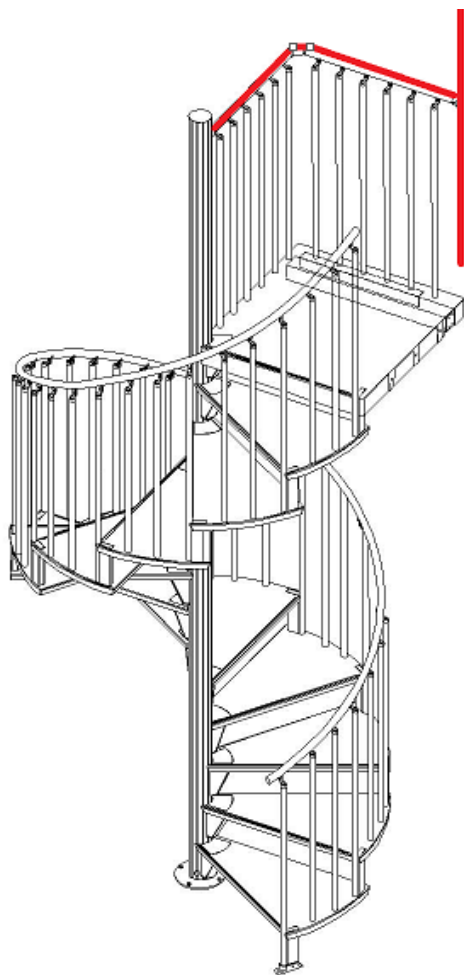
エンド柱



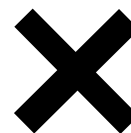
**施工説明書の計算式を参考に
エンド柱位置と合わせて手すり長さを決めてください。**

オプションの取り付け

オプション：エンド柱納まりの場合



手すりの延長上

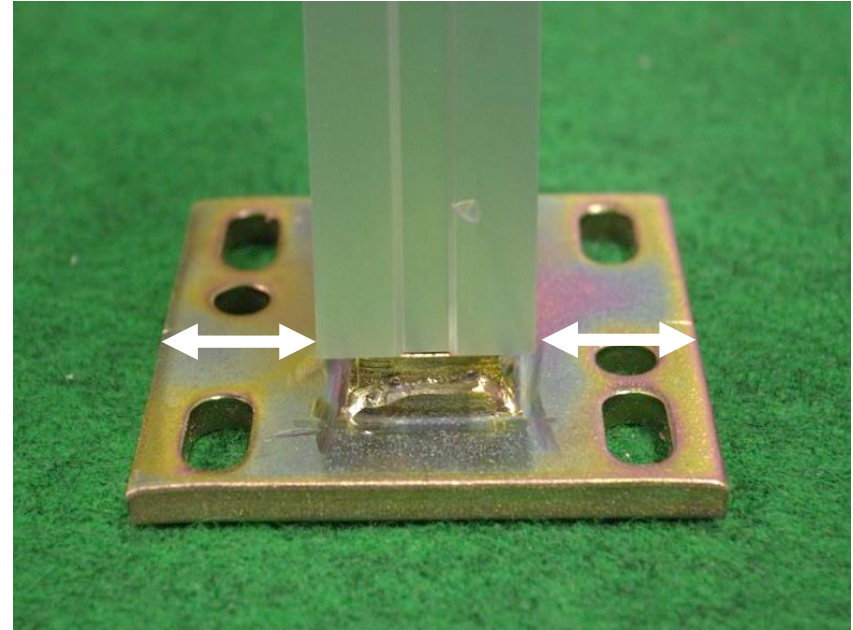
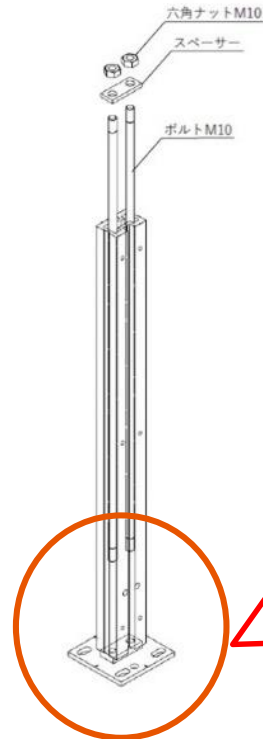
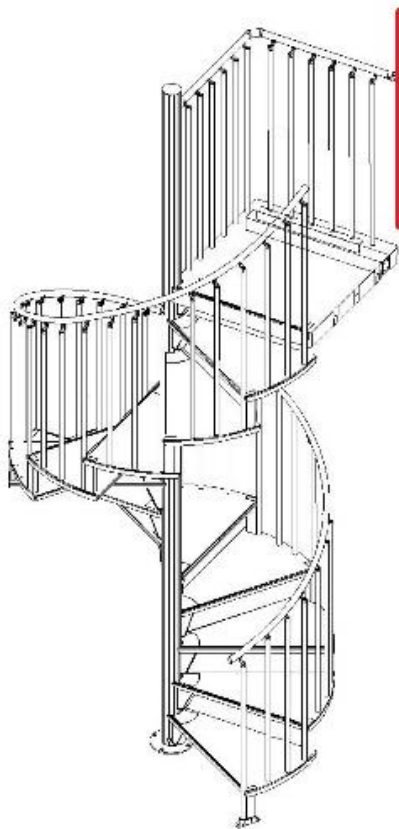


格子の延長上

**手すりの延長上にエンド柱が来るので、
必ず位置を確認してから施工してください。**

オプションの取り付け

オプション：エンド柱納まりの場合

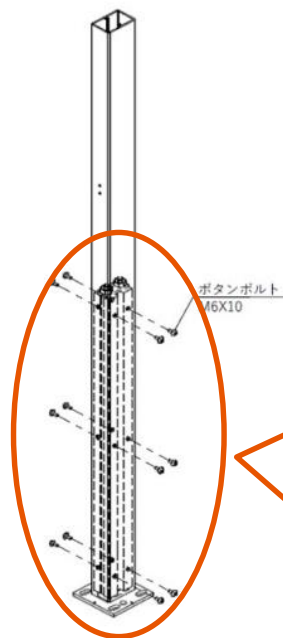
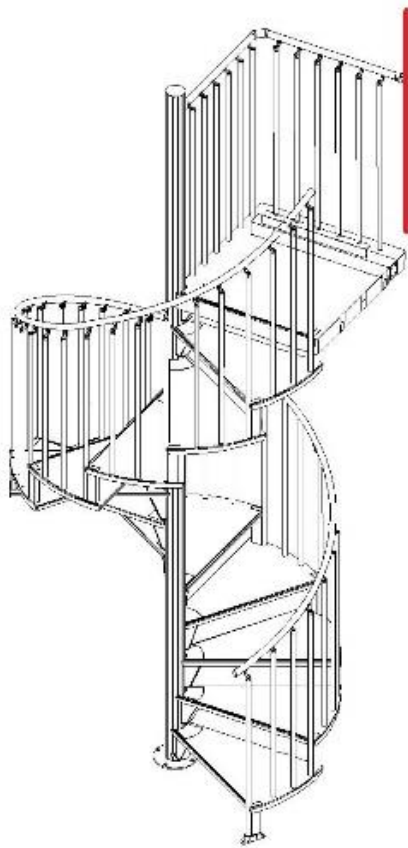


均等に組み立てること

エンド柱を組立ててください。

オプションの取り付け

オプション：エンド柱納まりの場合

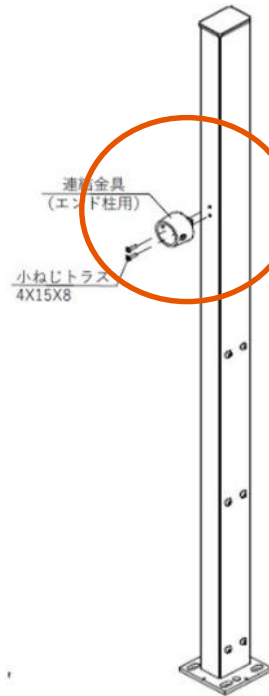
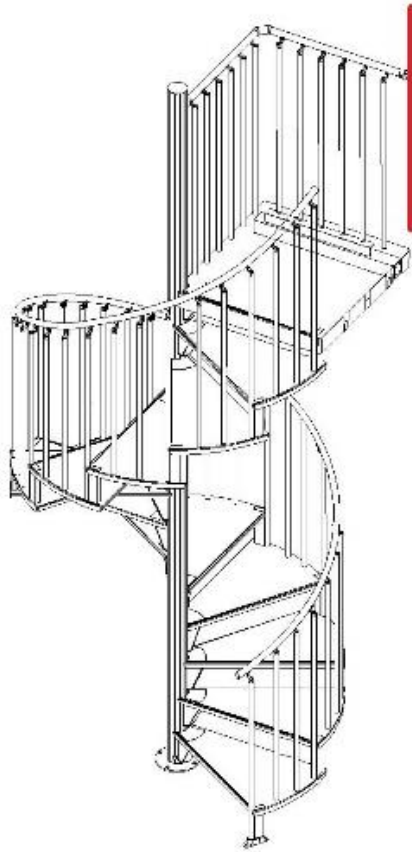


均等に締めること

ボタンボルトは両側を均等に締めること

オプションの取り付け

オプション：エンド柱納まりの場合

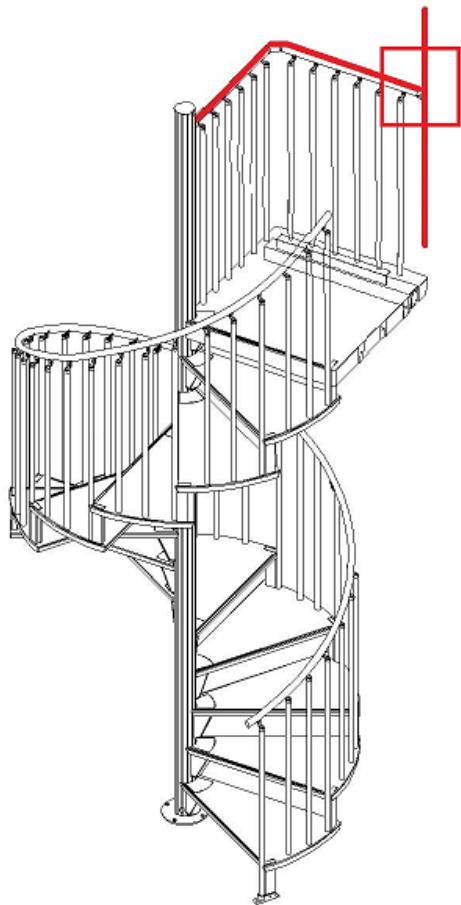


下穴+タップ加工をする。

墨出し位置にΦ3.2のキリで下穴をあけ
M4タップ加工してください。

オプションの取り付け

オプション：エンド柱納まりの場合



手すり位置に合わせる。



ねじ固定する。

手すりとエンド柱位置を調整してください。

LIXIL

Link to Good Living